

平成28年度「歩くまち・京都」推進会議 説明資料

資料 3



平成29年2月20日

「歩くまち・京都」推進会議の役割

「歩くまち・京都」総合交通戦略

数値目標：非自動車分担率 72%→80%以上

戦略の着実な推進により基本理念を具現化

シンボルプロジェクトをはじめ88の実施プロジェクトの推進

進捗状況を確認し、施策
の効果検証を行う

戦略の見直しを
幅広い観点から確認

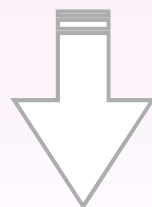
人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現

「歩くまち・京都」総合交通戦略の実施プロジェクトの推進

基本理念

自動車交通の制限を含めた様々な抑制策等を通じてクルマを重視したまちと暮らしを、「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに転換していく。

京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市でもある京都が日本を代表する「国際文化観光都市」であると同時に、まちの賑わいを生み出す都市であり続けることを目指す。



脱「クルマ中心」社会を実現するためには、戦略の理念を共有し、行政、事業者、市民の皆様が一体となって、88の実施プロジェクトの着実な推進を図る。

議題

(1) 平成28年度の「歩くまち・京都」の主な取組について

88の実施プロジェクトの進捗状況

分野	施策分類	進捗状況			
		企画構想 段階	事業推進 中	事業がほ ぼ達成	合計
分野1 「既存公共交通」の取組	(1)公共交通利便性向上施策	1	40	9	50
分野2 「まちづくり」の取組	(2)「歩くまち・京都」を支える 歩行空間の充実	0	2	0	2
	(3)未来の公共交通の充実	0	2	1	3
	(4)自動車交通の効率化と適正化	0	8	0	8
	(5)パーソナルモビリティの転換	0	3	0	3
分野3 「ライフスタイル」の取組	(6)「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発	0	1	0	1
	(7)交通行動スタイルの見直しを促す コミュニケーション施策 (モビリティ・マネジメント施策)	0	20	1	21
合計		1 (1%)	76 (86%)	11 (13%)	88 (100%)

詳しくは資料4をご覧ください

取組概要

＜「まちづくり」の取組＞

- ・四条通歩道拡幅事業は高い評価を受け3つの学会から表彰を受賞（歩行者数は増加し交通量は減少）
- ・「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備を推進
- ・安心・安全な東大路通の実現に向けて、社会実験を実施するとともに、意見交換会を開催する等、地域住民の皆様と情報共有を図りながら取組を推進

＜「既存公共交通」の取組＞

- ・京都駅八条口駅前広場のグランドオープン
- ・外国人利用者に向けた案内に関する共通の指針を策定する等、事業者連携を強化
- ・阪急西院駅に東側改札口を2箇所新設する等、交通バリアフリーの推進

＜「ライフスタイル」の取組＞

- ・地域と連携したMMを2箇所（山科区、右京区）で実施
- ・「歩くまち・京都」学習実践校（3小学校）で学校MMを推進
- ・NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムと連携したMMの推進

四条通歩道拡幅事業①

まちづくり

■整備内容

□歩道の拡幅

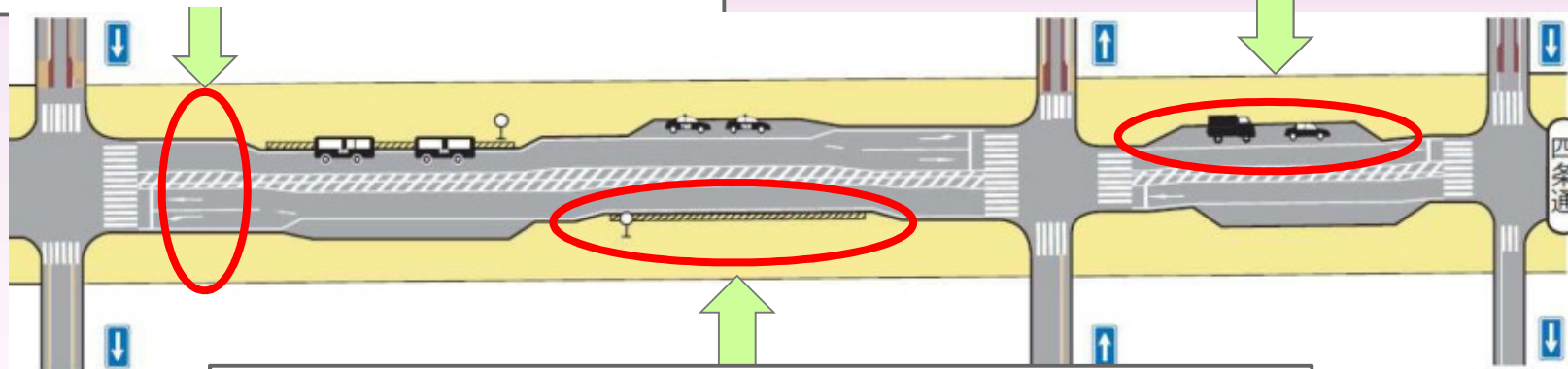
- ・歩道を最大2倍に拡幅
- ・4車線から2車線に変更



平成27年10月末
整備完了

□沿道アクセススペースの設置

- ・人の乗降, 5分以内の荷物の積卸のために利用できる沿道アクセススペースを15箇所(32台分)設置



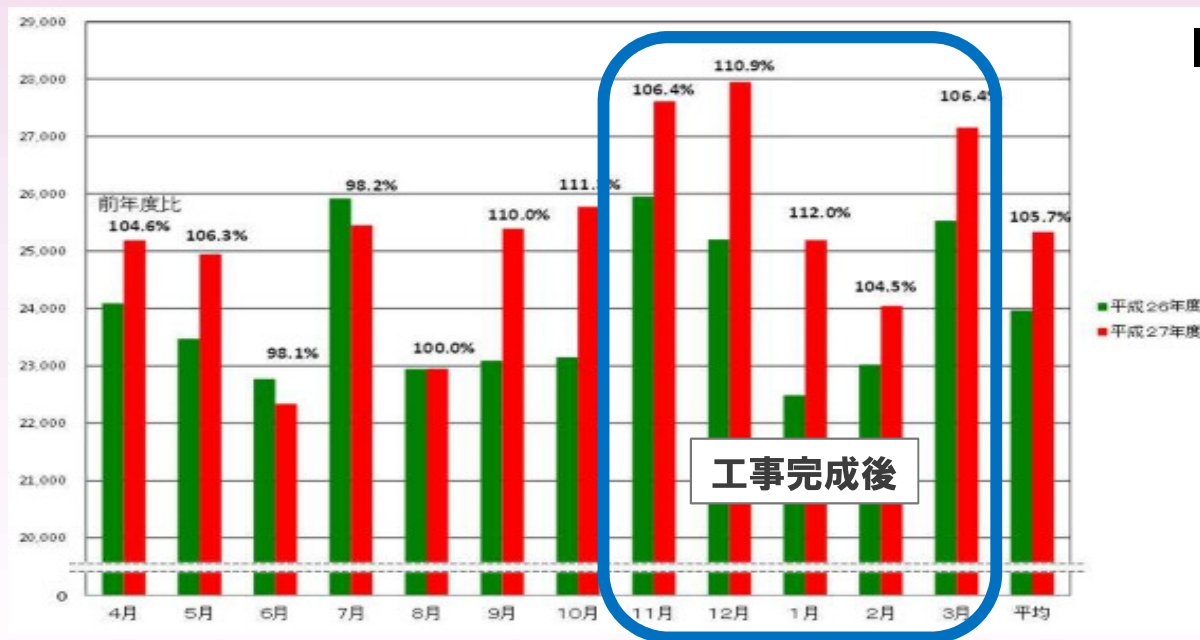
□バス停の集約とテラス型バス停の設置

- ・16箇所あるバス停を東行き西行き合わせて4箇所に集約
- ・歩道から張り出したバス停(テラス型バス停)を設置

歩行者の快適性と公共交通の利便性を高め、
都心の商業施設等へ行きやすくし、まちの賑わいの創出を図る

■ 歩行者通行量・歩行形態の変化

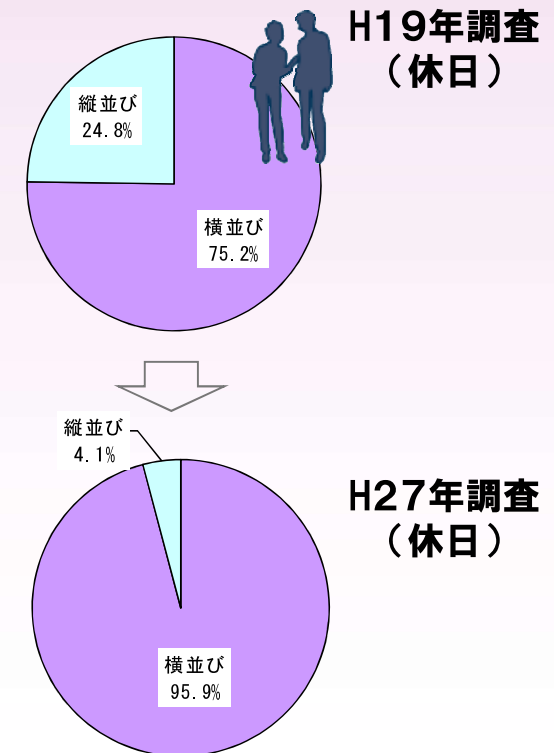
工事完了後(平成27年11月～平成28年3月)の歩行者通行量・・・前年比で平均7.7%増加



※ 四条繁栄会商店街振興組合が設置する6箇所の歩行者カウンターの1箇所あたりのカウント数で比較

■ 歩行者の歩行形態の調査

＜四条通北側（高倉通～堺町通間）＞

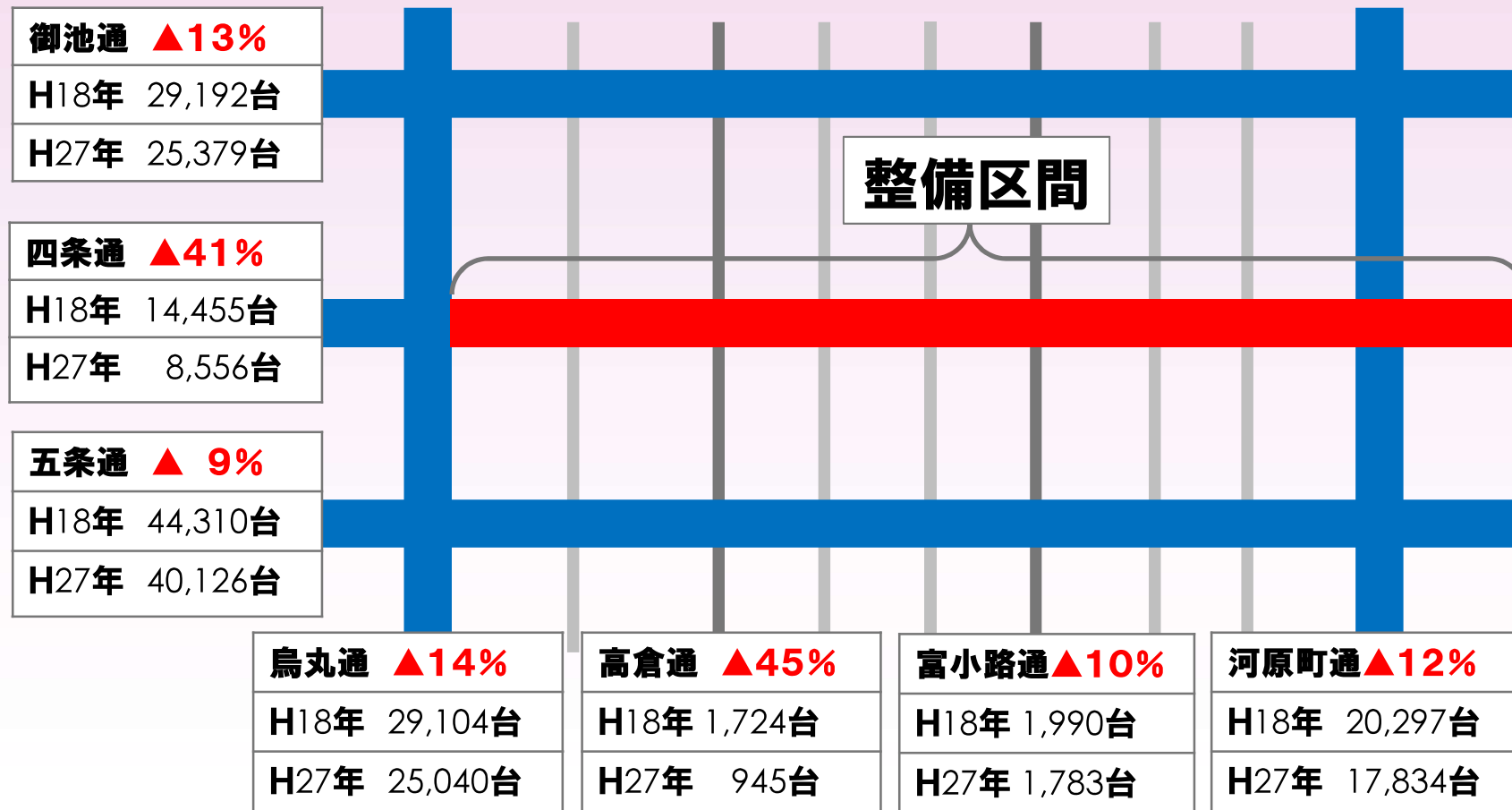


四条通歩道拡幅事業③

まちづくり

■四条通・主な周辺道路の12時間交通量の変化(7時～19時)

- 四条通の交通量 ……約10年前との比較で約3～4割減少
- 四条通周辺の幹線道路の交通量 ……約10年前との比較で約1～2割減少
- 四条通周辺の細街路の交通量 ……約10年前との比較で約1～5割減少



四条通歩道拡幅事業④

まちづくり

■整備後の四条通



歩道拡幅により鉾との距離感が縮まった

■学会賞の受賞

多角的な視点からの評価を受け、
3つの表彰を受賞

国際交通安全学会賞（業績部門）
日本都市計画学会賞（石川奨励賞）
土木学会賞（技術賞）



（受賞式の様子）

「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備①

まちづくり

歩道整備が困難な都心の細街路において、車両の走行速度を抑制することで事故の減少を図り、安全でゆとりのある歩行空間を確保するため、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン」と指定し、カラーラインと幹線道路からの出入口部のカラー舗装(半たわみ舗装)等を本市で施工し、速度規制(20km/h)の路面表示を、京都府警により設置していただいています。



烏丸六角東入る



仏光寺高倉付近

「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備②

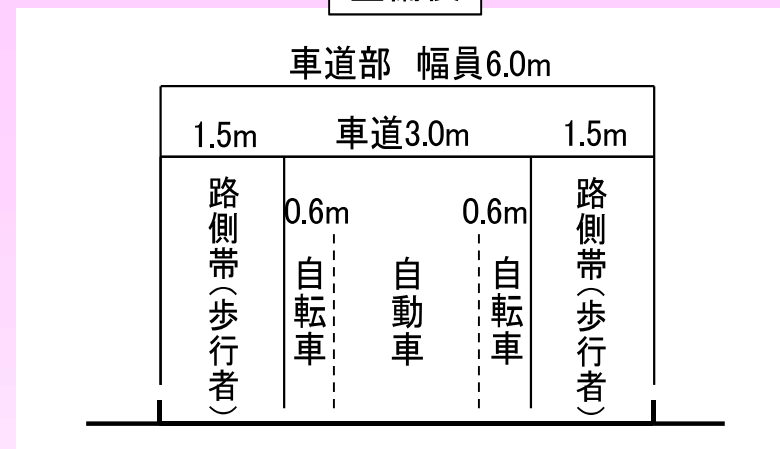
まちづくり

【標準幅員】

整備前

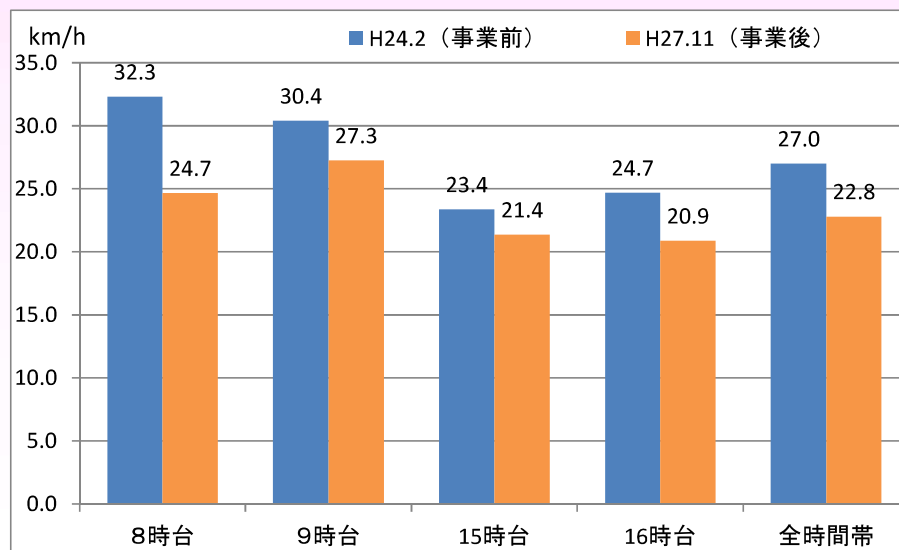


整備後



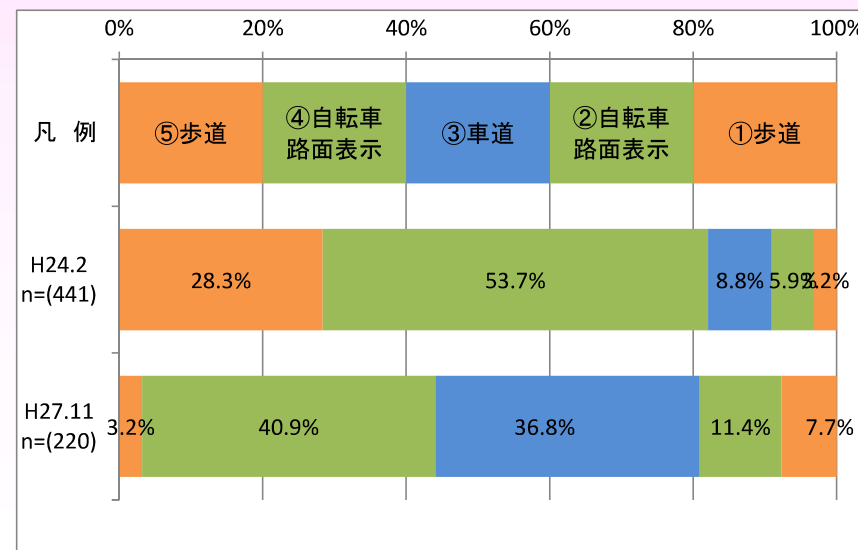
【対策の効果】

自動車の速度の変化



調査日: 平成24年2月26日(日), 平成27年11月28日(土)

東洞院(北)の北行自転車通行位置



調査日: 平成24年2月24日(金), 平成27年11月11日(水)

「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備③

まちづくり

【整備状況】

<ゾーン③>

一部で完了

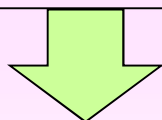
<ゾーン④>

歴史的都心地区⇒完了

<ゾーン⑥>

北側半分⇒完了

南側半分⇒カラーラインの設置



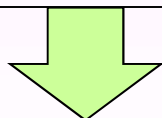
平成28年度

<ゾーン⑥>

出入り口部のカラー舗装化

<ゾーン③>

ゾーン対策着手

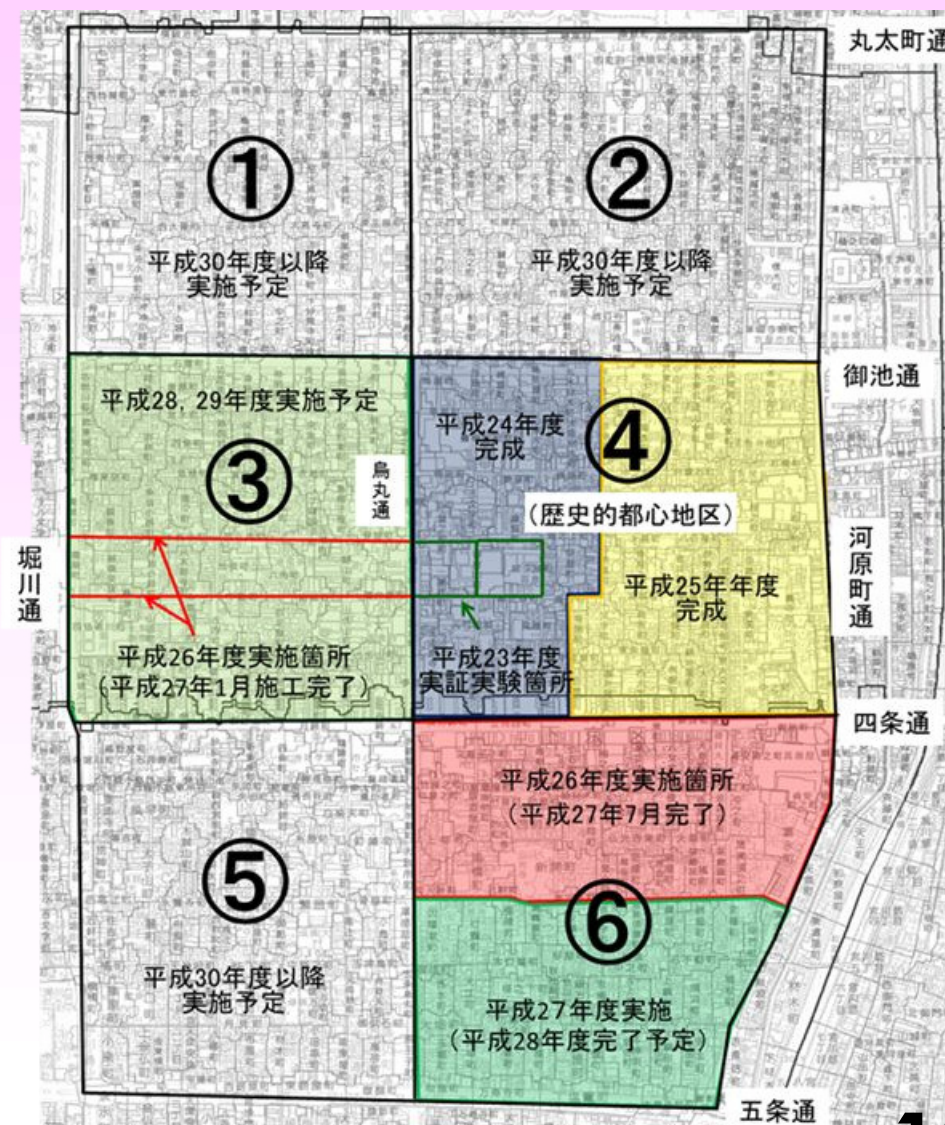


平成29年度

<ゾーン③>

ゾーン対策実施

京都市ゾーン対策エリア

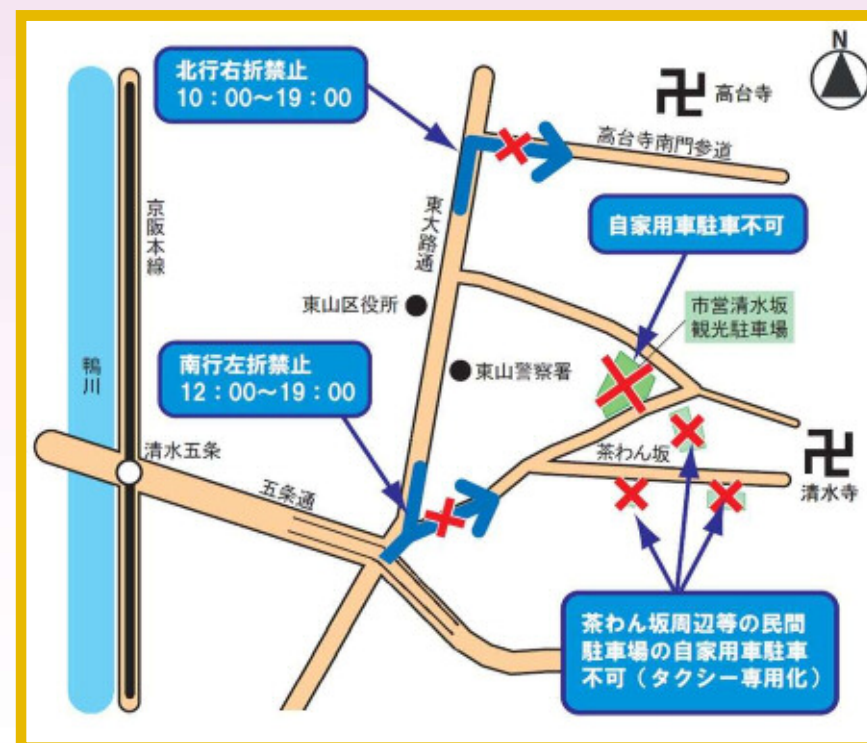


- 秋の紅葉シーズンに、京都を代表する観光地である嵐山地区と東山地区において、交通の円滑化と安全快適な歩行空間の創出を目指す。

<平成28年度 秋の実施内容>

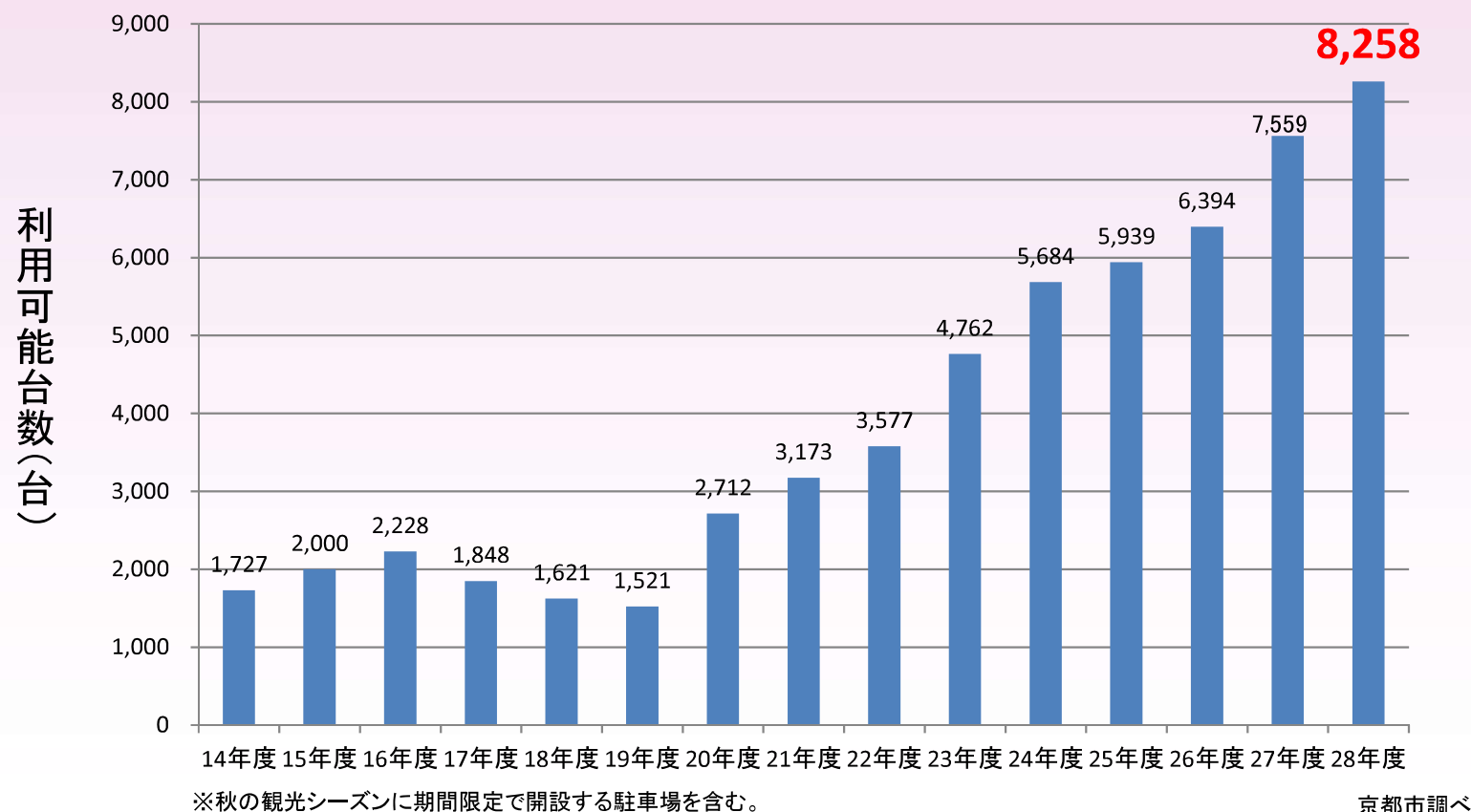


<嵐山地区>



<東山地区>

- 京都市内への自動車の流入抑制と公共交通の利用促進を図るため、パークアンドライドの拡大実施に取り組んでいる。



●東大路通の現状

■東大路通が抱える課題



歩道が狭く、段差や勾配の急な箇所が存在



良好なバス待ち環境が整っていない



電柱等が歩行者の支障となっている



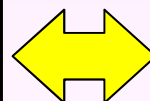
観光客の集中による混雑

■地域からの要望(平成14年～)

- ・区民、観光客が快適に利用できる東大路通の整備
- ・車道幅員の見直しを含めた歩道拡幅と電線地中化事業の推進

■これまでの取組(平成16年～)

- ・秋の観光地交通対策
 - ・パークアンドライド等を継続して実施
- ソフト対策だけでは限界がある**



●整備目的

ハード整備も併せて実施することが必要

安心・安全な歩行空間の創出

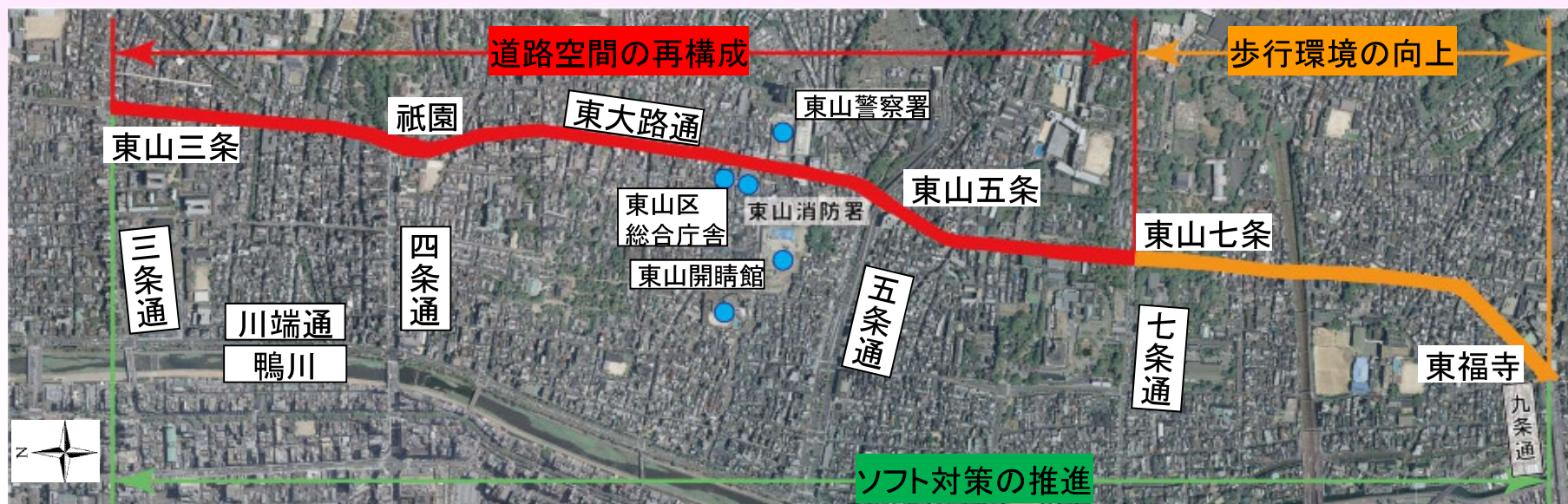
安心・安全な東大路歩行空間創出事業②

まちづくり

●東大路通整備構想（平成24年8月策定）

実現に向けた基本方針

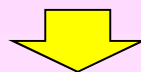
現在の道路幅員の中で、歩行者が安心・安全、そして快適に通行することのできる空間の確保を最優先にして、**車線数の減少等も含めた道路空間の再構成を検討し、「環境」、「景観」、「地域コミュニティ」、「観光振興」等の視点から「歩いて楽しい東大路」を目指す。**



●「車線数の減少を伴う道路空間の再構成(2車線化)」

交通解析の結果、**現在の交通状況で2車線化した場合、「東大路通および周辺道路への交通影響が大きい」**ことが判明

- ・東大路通を避けて川端通～堀川通に迂回し、周辺道路の交通の流れが低下
- ・東大路通では、所要時間の増加、渋滞の悪化等が発生



現状では2車線化を実施せず、今後も交通状況等を考慮しながら長期的に検討する

※パークアンドライド等の流入抑制や道路ネットワークの強化に中長期的に取り組む

●今後の取組方針

東大路が抱える課題は喫緊の課題

- ① 引き続き、安心・安全な歩行空間の創出に向けた取組を進める
- ② **歩道勾配の急な箇所や良好なバス待ち環境が整っていない等の個別の課題に対し、交通影響が少なく効果的な対策を検討・実施する**
- ③ 「車線数の減少を伴う道路空間の再構成(2車線化)」については、現状では実施せず、長期的に検討を行う

安心・安全な東大路歩行空間創出事業④

まちづくり

●平成28年度の取組

個別の課題に対し、検討している改善策の一部について**社会実験を実施**するとともに、**地域との意見交換会を開催**する等、地元住民の皆様と情報共有を図りながら取組を推進

■検討内容

改善策の視点	取組内容	考え方	社会実験
(1) 歩道環境の改善	1) 横断勾配の改善	歩道の横断勾配が急な区間について、車道や歩道、民地内の高さ調整により勾配の改善を図る。	
	2) 電柱等の移設と集約	現況の歩道幅員での無電柱化は地上機器等の設置が困難であるため、通行の支障となっている電柱等を移設・集約することで歩行空間を確保する。	
	3) 部分的な歩道拡幅	祇園バス停(北行・南行)で、バス停形式を変更(バスベ이를ストレート化)して歩道空間・バス待ち空間を広げる。 (2)2)バス待ち空間の確保と同様。	○
(2) バス待ち環境の改善	1) バス停移設	清水道バス停(北行)をスペースが広い東山区役所前に移設する。	○
	2) バス待ち空間の確保	(1)3)部分的な歩道拡幅と同様の取組。	○
(3) 歩行者の回遊性および案内誘導の向上	1) 魅力ある道路整備による誘導促進	観光客が多い道路や誘導したい道路について、石畳風舗装や照明灯の電球色化の視覚的な区別により魅力ある道路に整備することで、観光客を誘導する。	○
	2) スタンプラリーによる観光客の案内誘導支援	スタンプラリーにより観光客を複数の観光スポット等に誘導し回遊させることで、東大路通のバス停や歩道等に集中している歩行者を分散する。	○
	3) ピクトグラムによる案内誘導	東大路通を中心に観光客が集中している交差点やバス停付近において、現在の案内標識の案内状況を踏まえた補助標識を設置し、速やかに観光ルートに誘導し歩行者の集中を緩和する。	○

■社会実験状況



■意見交換会

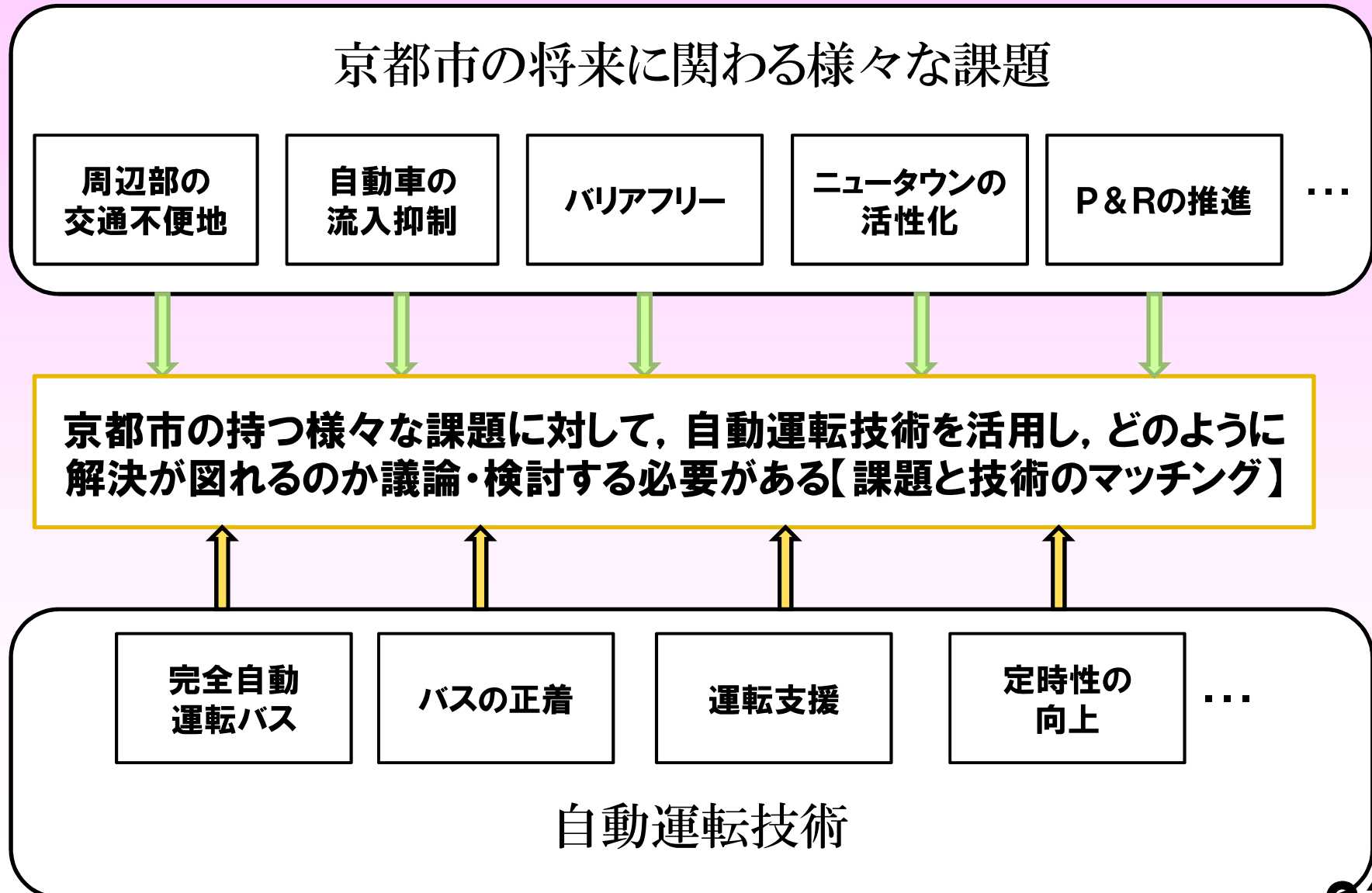


■自動運転実現のロードマップ

「官民ITS構想・ロードマップ2016」より

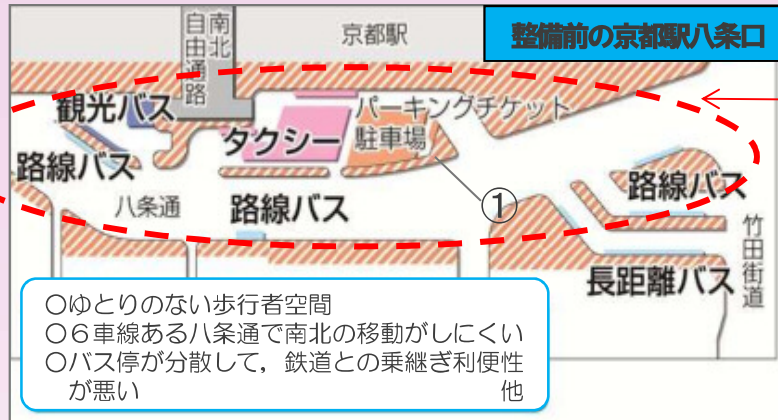
レベル	実現時期の目標	責任の所在 (アクセル・ハンドル・ブレーキの)
0	—	 ドライバー側 (全てをドライバーが操作)
1	実用化	 ドライバー側 (どれか一つをクルマ側が操作)
2	2020年まで	 ドライバー側 (複数をクルマ側が操作)
3	2020年目途	  ドライバー側・ 車側 (全てを、通常時はクルマ側が操作し、 緊急時などはドライバーが操作)
	2025年目途	 車側 (全てをクルマ側が操作し、ドライバーは関与しない)

■ 自動運転技術と京都市の課題解決



京都駅八条口駅前広場整備①

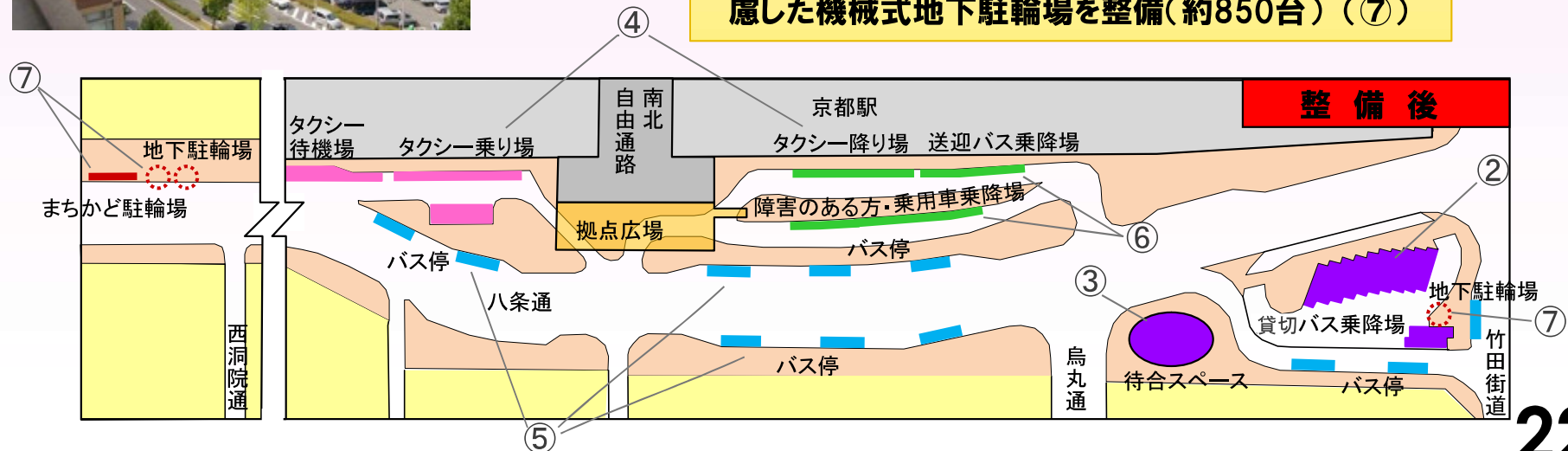
既存公共交通



整備前



- ・車線減少 (6 → 4車線)
- ・パーキングチケット駐車場の廃止 (①)
- ・貸切バス乗降場のスペースを拡大 (6→12台)するとともにタクシーと経路を分離 (②)
- ・300人程度の待機スペースを確保 (③)
- ・タクシーの乗り場と降り場を分離 (④)
- ・バス停を駅正面に集約し、乗継利便性を向上 (⑤)
- ・障害のある方、自家用車、ホテル等送迎バスの送迎のための停車スペースを整備 (⑥)
- ・地下空間を有効活用するとともに、景観に配慮した機械式地下駐輪場を整備(約850台) (⑦)



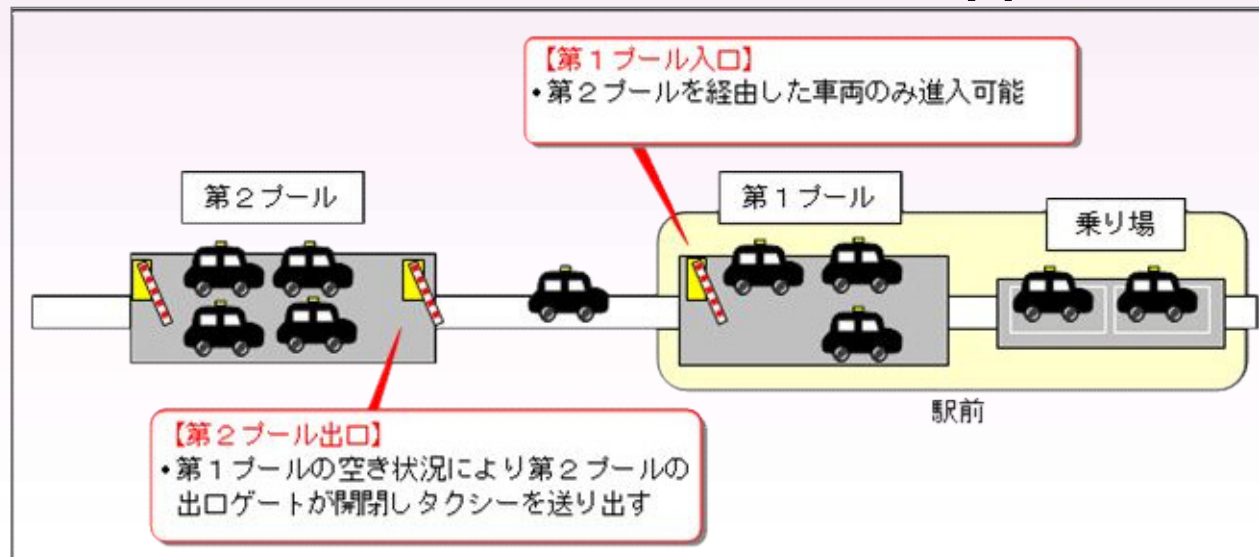
京都駅八条口駅前広場整備②

既存公共交通

<駅前広場管理運用方針>

- ・ 貸切バスとタクシーに **ショットガンシステム**を導入
- ・ 路線バスの運行条件やルールに基づき事業者間調整を実施
- ・ 駅前広場に自家用車の駐車場がなくなることを周知し、駐車利用は付近の駐車場へ誘導
- ・ 原則として路外で荷捌きスペースを確保することとし、複数店舗を集約し車両の小型化が難しい車両等については、路側のスペースで荷捌き

タクシーショットガンシステムイメージ図



駅前プール入口ゲート



第2プール出口ゲート

京都駅八条口駅前広場整備③

既存公共交通

完成イメージ



機械式地下駐輪場完成



<整備スケジュール>

- | | | | |
|-----------|---------------------|-----------|----------------------|
| ・平成26年11月 | 駅前広場整備工事着工 | ・平成28年 4月 | タクシーショットガン運用開始 |
| ・平成27年 1月 | パーキングチケット駐車場の廃止 | ・平成28年12月 | 駅前広場グランドオープン |
| ・平成27年 2月 | 機械式地下駐輪場供用開始 | ・平成29年 4月 | 京都駅八条口貸切バス乗降場の運用開始予定 |
| ・平成28年 1月 | サンクンガーデンの工事着手 | | |
| ・平成28年 3月 | 駅正面の拠点広場(みやこ夢てらす)完成 | | |

京都駅八条口駅前広場整備④

既存公共交通

■整備後の駅前広場の様子

●拠点広場(みやこ夢てらす)
H28. 3～供用開始



●拠点広場(みやこ夢てらす)デッキ上
H28. 3～供用開始



●送迎スペース
H28. 3～供用開始



●タクシー乗り場
H28. 4～タクシーショットガン運用開始



京都駅八条口駅前広場整備⑤

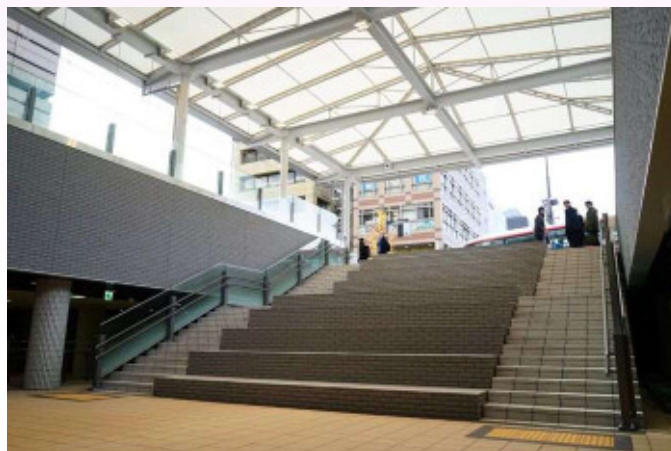
既存公共交通

■整備後の駅前広場の様子

●サンクンガーデン
H28. 12～供用開始



●サンクンガーデン(地下部)
H28. 12～供用開始



●貸切バス乗降場
H28. 12～供用開始



●荷捌き場
H28. 12～供用開始



□ 公共交通利便性向上検討WG

- ・洛西地域における利用促進イベントの実施(らくさいさくら祭, 西京区民ふれあいまつり)
- ・JR桂川駅前におけるバス乗降箇所の路面表示改善 **NEW**
- ・ダイヤ改正に伴う共通時刻表及び路線図の修正

□ ICカード普及啓発WG(幹事:交通局)

- ・各交通事業者と連携した普及啓発活動を実施
- ・来訪者に対する利用促進として, 交通事業者が駅等で配布する冊子に案内記事を掲出 **NEW**
- ・京都市を生活圏とする方への利用促進として, 案内用ホームページを作成 **NEW**

□ 外国語案内充実WG(幹事:交通局, 京都バス)

- ・外国人利用者に向けた公共交通案内の充実を目指し, 案内に関する共通指針を策定 **NEW**
- ・国庫補助を活用し, 現状分析, アンケート調査, モニター調査を実施 **NEW**

□ 歩くまち・京都レールきっぷWG(幹事:京阪電鉄)

- ・鉄道事業者5社局と連携した京都市内の鉄道が乗り放題となる企画きっぷを販売

歩くまち・京都レールきっぷ(夏版) : 有効期間 平成28年7月1日～平成28年9月30日

歩くまち・京都レールきっぷ(冬版) : 有効期間 平成28年12月9日～平成29年3月20日

乗合バスについて～各地域の取組①

既存公共交通

◇右京区京北地域

少子高齢化が急速に進行
(小中学生が10年前の
2/3に!)

バスの利用者は10年前
の6割に!



地域のバスを守るための
取組を実施している。

◇右京区水尾地域

地域が主体となり、
自治会バスを運行



利用者数の減少により、
安定的な運行が厳しい
状況にある。



◇左京区久多地域

地域と市街地を結ぶ唯一
のバスが撤退



地域が主体となったボラ
ンティア輸送による社会
実験を経て、自主運行を
開始している。

◇北区雲ヶ畑地域

地域と市街地を結ぶ唯一
のバスが撤退



地域が主体となり、運
送事業者に委託し、バ
スを運行している。

＜ふるさとバスの社会実験＞平成28年9月1日(木)～平成29年3月31日(金)

※ 社会実験の結果を踏まえ、平成29年4月1日より通常運行に移行する予定

◇北桑田高校生に向けた利用促進策

・夜間便の運行(平日2便)

・運賃割引(上限200円)※5月16日から開始

◇京北病院玄関口へのバス乗り入れ

◇重複ルートの効率化

・小塩線、灰屋線の運行効率化(小塩経由灰屋行き)

◇スクールバスとの一本化(宇津線)

※ 6月13日～7月21日、10月11日～3月(授業終了日)

＜太秦天神川駅への接続＞平成29年3月18日(土)～

◇JRバスと市バスとのダイヤ調整による太秦天神川駅への立ち寄り

目的:市バスとの乗継ぎにより、最寄りの鉄道駅である太秦天神川駅へ立ち寄ることが可能となり、西日本JRバス高雄・京北線と市バスの新たな利用者の掘り起こしを図る。

便数:朝夕の時間帯において、西日本JRバス・市バスの運行時刻(平日ダイヤ)を3便ずつ変更し、計6便の接続便を運行します。

◇通勤時(6時台):1便《現行ダイヤ》,(7時台):1便

◇帰宅時(18時～21時台):4便

乗合バスについて～各地域の取組～③

既存公共交通

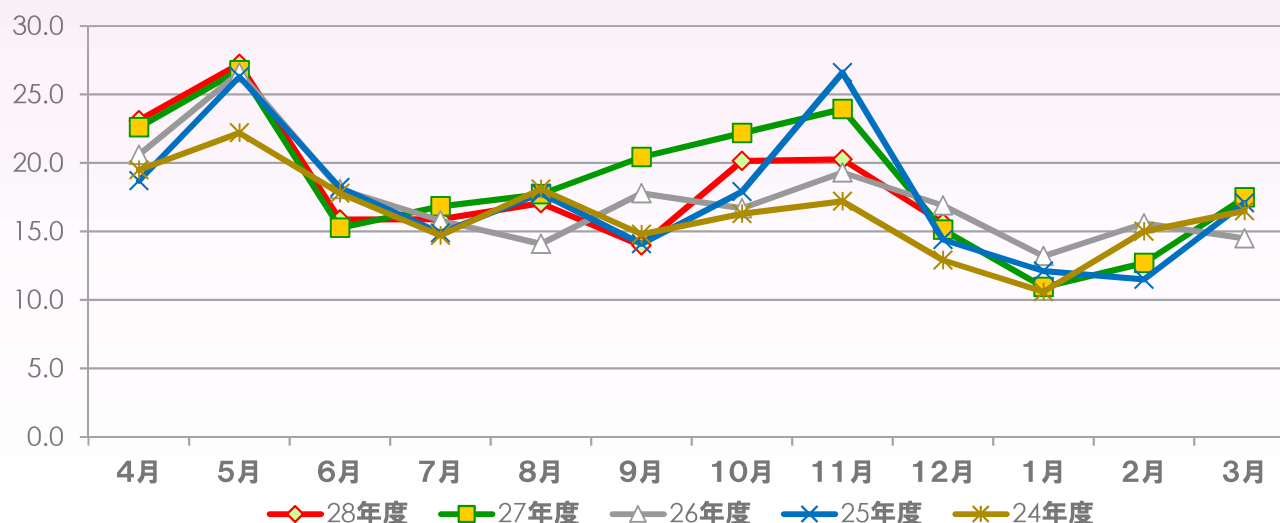
□北区雲ヶ畑地域

- ・平成24年4月1日から、地元自治振興会が運営主体となる、雲ヶ畑バス「もくもく号」の運行が開始(運行区間:雲ヶ畑地域⇄地下鉄北大路駅, 運賃:片道500円)
- ・平成24～25年度の2箇年,「もくもく号」の利用者増を目的に,日帰りモニターツアーを実施し,計208名の参加があった。

・1日あたりの現金利用者目標8.1人に対する各年度の現金利用者実績

平成24年度	10.4人/日	平成25年度	11.6人/日
平成26年度	10.8人/日	平成27年度	11.5人/日
平成28年度	12.4人/日(平成28年12月現在)		

・利用実績の推移



雲ヶ畑バス「もくもく号」

□左京区久多地域

- ・これまで1日2本、地域を運行していた京都バスの路線が、高島市の運行委託金の廃止を受け、平成23年4月1日から平日運行を廃止し、休日運行のみとなった。
- ・平成25年度に、スクールバスを活用した地域と堅田を結ぶ試行運行を開始し、平成26年度からは、久多いきいきセンター送迎車を使用し、ボランティア乗合タクシーの運行実験を実施しており、一定の利用者を確認
- ・平成28年9月9日より公共交通空白地有償運送を開始し、月2回の運行を実施（運行区間：久多地域⇄滋賀県大津市真野（堅田駅周辺）、運賃：片道500円）

□右京区水尾地域

- ・平成15年度に認可地縁団体による自家用自動車の旅客有償運送を開始し、地域が主体となる水尾自治会バスが発足（運行区間：水尾地域⇄JR保津峡駅、運賃：片道250円）
- ・1,000千円を上限とする運営赤字相当額を、水尾自治会へ補助金として交付（一世帯当たりの負担金：1,000円/月）
- ・近年は、地域住民による利用者数が減少傾向にあり、現行の補助金額による安定的な運行が厳しい状況にある。

交通バリアフリーの推進①

既存公共交通

- 高齢者や障害のある方をはじめ、すべての人が、安心・安全で円滑に移動することのできるよう、駅等のバリアフリー化を推進
- 平成14年度に「京都市交通バリアフリー全体構想」を策定
1日平均利用者数5,000人以上の駅を対象に14地区(25駅)の重点整備地区を選定(平成22年度までに全25駅のバリアフリー化が完了)
- 平成23年度に「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」を策定
1日平均利用者数3,000人以上の駅を対象に10地区(11駅)の重点整備地区を選定
- バリアフリー化の概要を定める「バリアフリー移動等円滑化基本構想」を平成24年度以降、順次策定し、その後「基本構想」に基づいて駅等のバリアフリー化整備を推進
 - ※全地区で「基本構想」を策定済(平成28年度末見込)
 - ※8駅のバリアフリー化を完了し、残る3駅についても順次整備に着手(平成28年度末見込)
- ハード整備だけではなく、ソフト施策として「心のバリアフリー」を推進

交通バリアフリーの推進②

既存公共交通

□ 平成28年度の主な取組

駅名 (事業者名)	事業内容	備考
上桂駅 (阪急)	・改札口の新設(嵐山方面), 多機能トイレの新設等	平成29年3月末 完了予定
松尾大社駅 (阪急)	・改札口の新設(桂方面), 多機能トイレの新設等	平成29年3月末 完了予定
嵐山駅 (阪急)	・ホーム上のスロープの新設・改良, 多機能トイレの新設等	平成29年3月末 完了予定
稲荷駅 (JR西日本)	・内方線付き点状ブロックの新設	平成28年9月 事業完了
向島駅 (近鉄)	・内方線付き点状ブロックの新設	平成29年2月 事業完了

既存公共交通

- ## 【(阪急・京福)西院駅の整備】

The map shows the proposed station layout for Keifuku Seian Station. Key features include:

- Station Area:** The station is located at the intersection of West Daimaru Street (西大路) and Yotsukaido Street (四條通).
- Proposed Station Building:** A pink box labeled "現駅舎 (改築予定)" (Current Station Building (Planned Renovation)) is shown at the intersection.
- Proposed Ticket Gate:** A blue box labeled "現在の改札口" (Current Ticket Gate) is shown near the intersection.
- Proposed Platform:** A green box labeled "新設改札口" (New Ticket Gate) is shown on the right side of the map, with a red dot indicating the location.
- Surrounding Streets:** The map shows the intersection of West Daimaru Street and Yotsukaido Street, with labels for "西大路四条交差点" (West Daimaru Street Yotsukaido Intersection) and "河原町方面ホーム" (Kawaramachi Platform).
- Other Labels:** The map includes labels for "阪急西院駅" (Keifuku Seian Station), "京福西院駅" (Keifuku Seian Station), "至梅田" (To Umeda), "至河原町" (To Kawaramachi), and "至四条大宮" (To Yotsukaido Daikyo).

■ 平成25年8月30日 運用開始

京都市域を運行するバス・鉄道を対象に、出発地と目的地を入力するだけで、最適な移動経路や運賃、所要時間を検索できる無料の経路検索システム

■ 特 徴

- ・ 18のバス・鉄道の乗換検索が可能
- ・ GPSを搭載している市バス, 京阪バス, 京阪京都交通バス(一部路線)については、全国初となる、**その日の道路状況を加味した到着予測時刻を表示**
また、地図上にバスの現在地を表示
- ・ 駅名, 停留所名だけでなく, 寺院・神社, 施設名等(約2,500施設に対応)からも検索が可能
- ・ 観光情報やMM情報, 駅のバリアフリー情報, バスの乗り方ガイド, 駅・停留所の周辺情報なども配信
- ・ 英語版の乗換案内, 観光コンテンツも充実
- ・ 市バスのみの検索, 市バス・京都バス1日乗車券カードで利用範囲内のみの検索機能の追加



トップ画面



バスの現在地表示画面

歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」②

既存公共交通

■ アプリのランキング, 評価

- ・ 第20回ITS世界大会(平成25年10月開催, 参加国69箇国, 参加人数21,000人)において, 先進的な「お役立ち」アプリとして紹介
- ・ アプリのランキング(平成29年1月25日現在)
AppStore(ナビゲーション) 81位
google play(旅行・地域) 119位



スマートフォン用の
アイコン

■ 利用状況(平成28年12月末現在)

- ・ スマートフォンアプリダウンロード数
約35万件
うち英語版アプリダウンロード数
約6万7千件
- ・ パソコン閲覧数
約3,467万ページビュー
- ・ 携帯電話閲覧数
約125万ページビュー



英語版メニュー画面



英語版観光施設情報

交通局の取組

既存公共交通



2017.3.18日 京都市バス



市バスキャラクター
京ちゃん

車両数

804両 → **808両**

走行キロ

85.8千km → **86.5千km**

より便利で 快適な市バスへ

Point 1 混雑緩和に向けた 主要系統の運行拡充!

- 京都駅と金閣寺とを結ぶ急行バス「二条城・金閣寺Express」を過年運行します。Express
- ご利用が増えている **204** **206** を増便します。

Point 2 大学のまち京都 通学系統の運行充実!

- **205** のキャンパス内停留所からの発車を拡大します。
- **北3 6** を増便するとともに、**北1** の通学時間帯の運行間隔を調整します。

Point 3 早朝や夜間時間帯の 運行充実!

- 早朝時間帯の運行充実: 始発便の時刻を繰り上げます。**26** **73** **81** などを増便
- 夜間時間帯の運行充実: 最終便の時刻を繰り下げます。**26** **50** **73** **81** などを増便
- 地下鉄の全曜日終電延長日に深夜バス **204** 「コトキン・ライナーリレー号」を試行運行します。

Point 4 鉄道との乗継利便性向上など 便利にご利用いただけるダイヤ編成!

- 京都岡崎ループが四条河原町を経由します。
- 四条通/西院・壬生寺→京都駅前方面で、**26** **28** の等間隔運行を実施します。

Point 5 地域主体のMM[※]と一体となった 路線・ダイヤの拡充!

- 西賀茂北部エリア(柊野地域)を運行する **北37** を試行運行から本格運行へ移行します。

Point 6 停留所の新設など 更なる利便性・快適性の向上!

- バス停留所の新設や付加呼称の設定、名称変更を行います。

Point 7 均一運賃区間を上賀茂・西賀茂地域へ、 更に拡大!

- 上賀茂・西賀茂地域の運賃が一律で均一運賃(大人230円、小児120円)となり、「市バス・京都バス一日乗車券カード」もご利用いただけます。**北3** **北37**

37

□ 概要

京都市が開催するイベント等において、歩くまち・京都の普及啓発ブースを出展し、クイズやくじ等で動機付け情報を提供する。

5月	「鳥羽の藤」鳥羽水環境保全センター一般公開	10月	京都学生祭典
	「蹴上のつつじ」蹴上浄水場一般公開		宕陰ハロウィン祭
8月	宕陰「竹灯籠」	11月	多世代交流・学習型イベント（エコまちフェスタ）
9月	京都カーフリーデー2016	2月	京都マラソンおこしやす広場



歩くまち・京都「小学生標語」ポスター



平成28年5月7日 蹴上浄水場



平成28年9月22日 京都カーフリーデー2016

□ スケジュール及び実施数

- 過度なクルマ利用から公共交通へ市民の**ライフスタイルの転換**を促すことを目的として、市内2学区を対象に、地域別の公共交通マップ・時刻表の配布や交通行動の変革を促すコミュニケーション・アンケートを実施

- ◆ 一次アンケート配布 : 平成28年12月5日～12月22日
- ◆ 二次アンケート配布(予定) : 平成29年1月16日～平成29年2月15日
- ◆ フィードバック(調査結果配布) : 平成29年2月1日～3月30日(予定)

	北区(金閣区)	上京区(仁和学区)	計
一次アンケートの配布数※	6,332	5,850	12,182
一次アンケートの回収数	集計中	1,248	集計中
一次アンケートの回収率	集計中	21.3%	集計中
二次アンケートの配布数	292	712	1,004

※郵便局のタウンメールにより対象地域の全世帯に配布

□ 概要

- クルマから公共交通機関等への交通手段の見直しに意欲が高い地域が取り組まれる事業に対して、必要な支援を実施。

選定事業	実施概要	成果
鏡山循環系統バスの1便増を目指す事業（山科区）	更なる利便性の向上のため、「1増便」を目指して以下の取組を実施。 ・バス利用者数調査 ・バス利用促進の啓発	2か年にわたる取組により、循環バスの実証運行開始当初は約10人/便であった利用者数が、約27人/便（27年2月調査）となり、27年3月23日から循環バスの本格運行が決定。 今年度は増便に向けて利用者増客策を実施。
京阪京都交通原・神吉線の利用促進事業（右京区）	地域の唯一の公共交通機関である原・神吉線を維持するため、地域のイベントに合わせた利用促進を実施 ・夏と秋のイベント2回での臨時便の運行、利用促進の啓発 ・バスを活用した地域の観光ルートチラシの作成	イベントを通じて宕陰地域の魅力を発信するとともに、参加者に公共交通を利用して訪れることを知ってもらうことができた。臨時便には、最大20名の乗客があった。（1便当たり年間平均乗車数4.26人）

□ 概要

- モビリティ・マネジメント教育の持続的・発展的展開を目指して、**学校教員を交えた「学校MM検討会」**を平成24年度に設置。
- 27年度は3回開催し、教員がモビリティ・マネジメント教育を実施する際のバリエーションを増やすために、ツールの一つとして「ガリバーマップ」を作成。
- 学校MMの継続的な実施に向けて、28年度の**「歩くまち・京都」実習実践校**を募集し、選定。

	実施概要
平成24年度	・ 低・中・高学年別のモビリティ・マネジメント教育のねらいを検討 ・ モデル授業を実施
平成25年度	・ 低・中・高学年別の指導案を検討 ・ モデル授業のバリエーションを開発 ・ 授業実施に参考となるDVD(試行版)を作成
平成26年度	・ モデル授業のバリエーションをさらに追加開発 ・ 授業実施に参考となるDVDを市内全小学校に配布
平成27年度	・ モデル授業のツールの一つとして、「ガリバーマップ」を作成 ・ 来年度以降の「歩くまち・京都」実習実践校を募集・選定

「歩くまち・京都」学習実践校との取組

ライフスタイル

平成27年度に歩くまち・京都学習実践校を公募し、3校を選定。
1校当たり20万円を支援し、今年度から、各学校で取組を実施。

岩倉北小学校

【実施教科】

社会科，総合的な学習

【テーマ】

「わたしたちの京都市のまちづくりを主体的に調べ考える子ども」～京都市の地理，歴史，政治，伝統文化，人々のくらしの教材化の工夫～

【実施学年】

3～6年生(予定)

【実施内容】

歴史や地理から見た京都のまちづくりについて学習

高倉小学校

【実施教科】

総合的な学習

【テーマ】

豊かに学び、表現し、高め合う子をめざして ～共にめざす 住みやすいまちにするために～

【実施学年】

3～6年生(予定)

【実施内容】

歩行者優先の安全な道にするための子どもからの提言，高倉タウンマップ作成，健やかウォーキングの考案など

南太秦小学校

【実施教科】

社会科，総合的な学習

【テーマ】

「歩くまち・京都」の視点からふるさつを見つめ，自身のくらしを見直し，公共の精神に立って判断・行動する子の育成

【実施学年】

4，6年生(予定)

【実施内容】

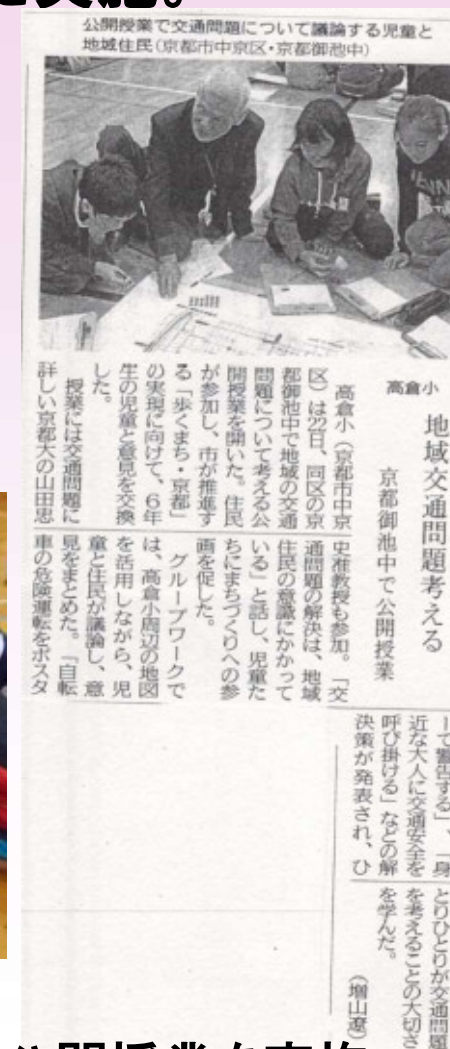
市バス70系統の取組に関する学習・発表，川を中心とした京都のまちづくりに関する学習など

「歩くまち・京都」学習実践校の公開授業

ライフスタイル

- 高倉小学校(中京区)6年生を対象に、安心・安全に歩いて生活するためにはどうすればいいのかを考える公開授業を実施。

- ◆ 実施時期:平成28年11月22日(火)
- ◆ 対 象:京都市立 高倉小学校 6年生(104名)
- ◆ 内 容:京都大学大学院 山田 忠史 准教授の講演
地域住民を交えたワークショップなど



12月15日に南太秦小学校, 1月27日に岩倉北小学校の公開授業を実施

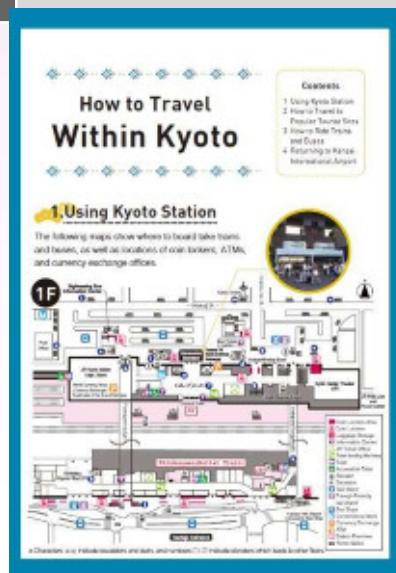
大学をはじめとした法人会員等と連携しながら、MM事業を実施

【取組例】

大学	【京都産業大学】駐車場でパークアンドライドの利用調査を実施し、分析し、パークアンドライド利用促進に向けた具体的施策の提案	など
	【京都ノートルダム女子大学・龍谷大学】 学内の学生向けの公共交通利用促進リーフレットを作成中	
法人	ホテル	インバウンド向けの公共交通利用案内冊子(英語・韓国語・繁体語・簡体語)を作成し、ホテルや観光案内所で配布
	百貨店	平成29年1月11日～1月24日の2週間、大丸京都店で買物客への公共交通利用促進キャンペーンを実施
	駐車場	11月の紅葉シーズンにおける無料駐車場の利用促進チラシを作成・配布



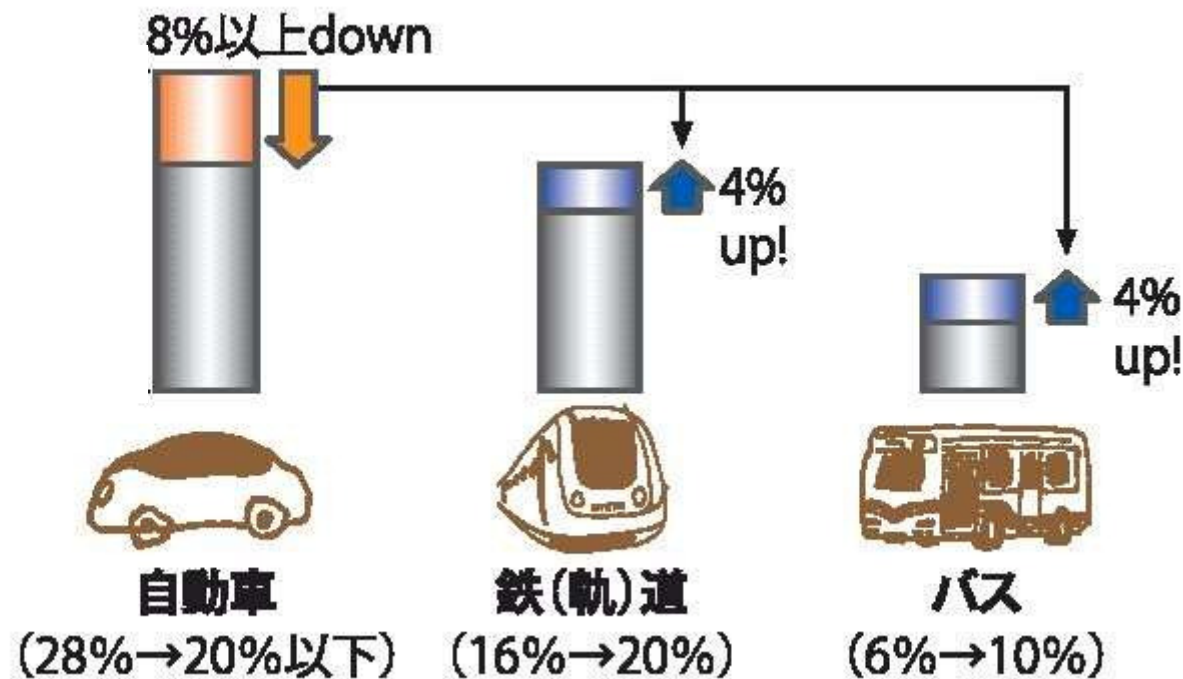
京都産業大学パークアンドライド利用調査



効果検証

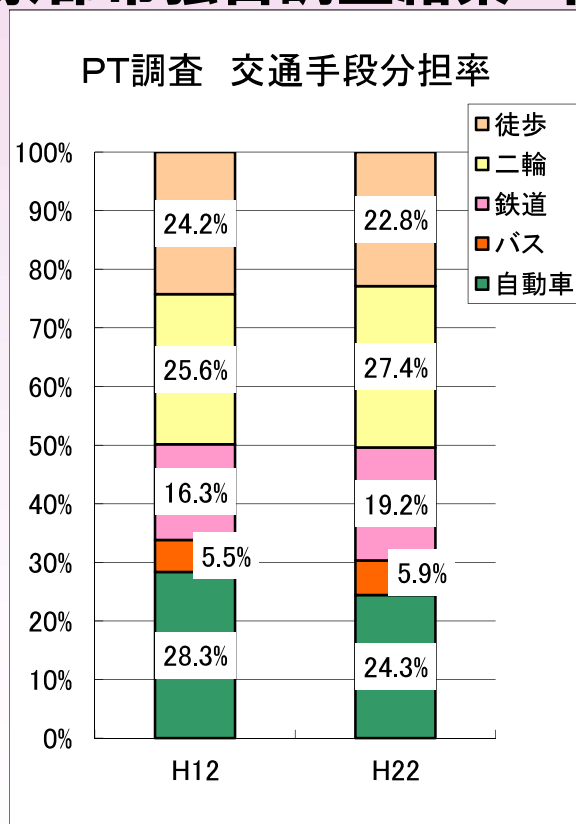
「歩くまち・京都」総合交通戦略の数値目標

非自動車分担率をH12の72%から80%以上にまで上げていく，脱「クルマ中心」社会を目指します。

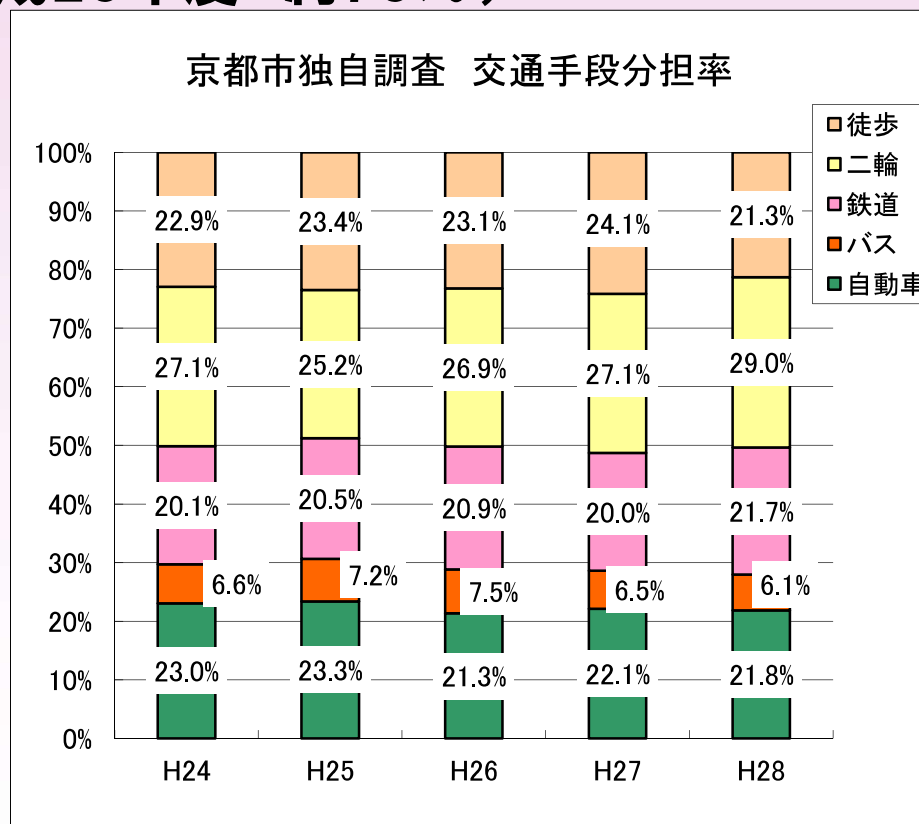


交通手段分担率

- 「歩くまち・京都」総合交通戦略の数値目標である非自動車分担率は、目標達成に向けて高水準を維持している。
(京都市独自調査結果:平成28年度 約78%)



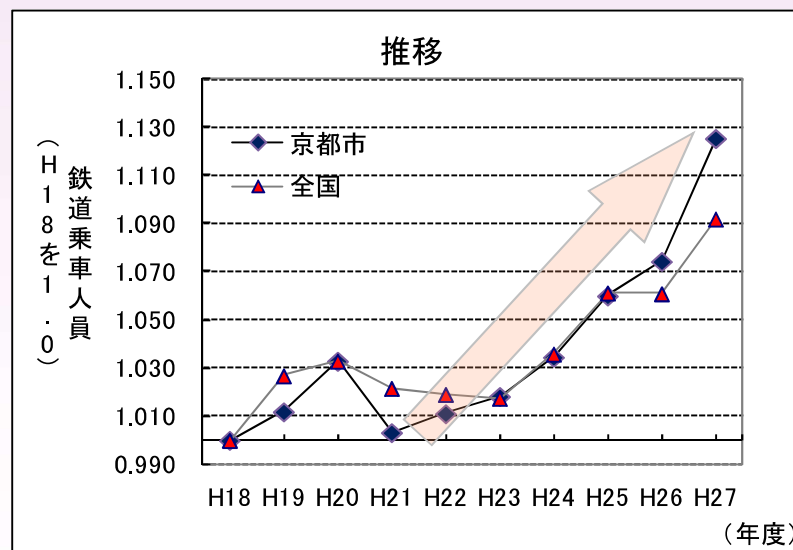
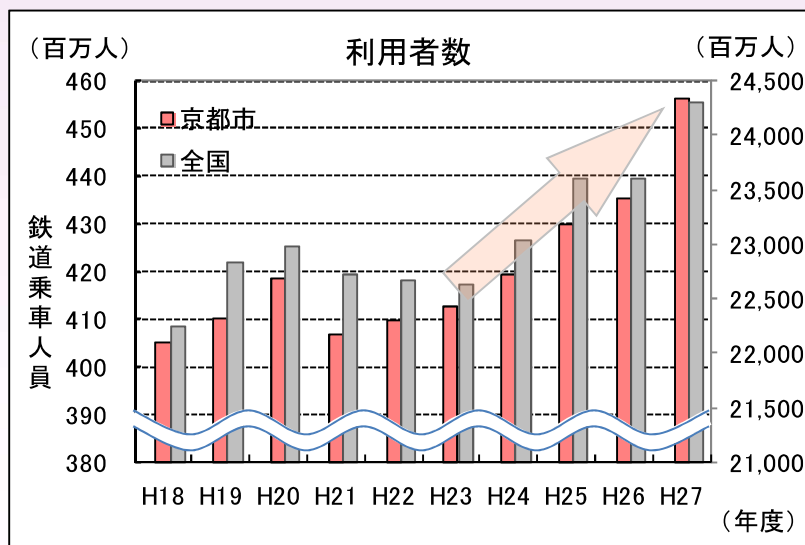
PT調査(パーソントリップ調査)は交通計画、防災計画等の基礎資料とすることを目的に、10年毎に実施。H22の対象世帯数は近畿2府4県約186万世帯(非外出者を含む)



京都市独自調査は、数値目標である京都市の交通手段分担率をモニタリングすることを目的に、京都市民を対象にH24から毎年実施。京都市民以外の京都市の交通はPT調査と同じとしている。対象者数は約1千人(外出者のみ)

参考①: 鉄道利用者数

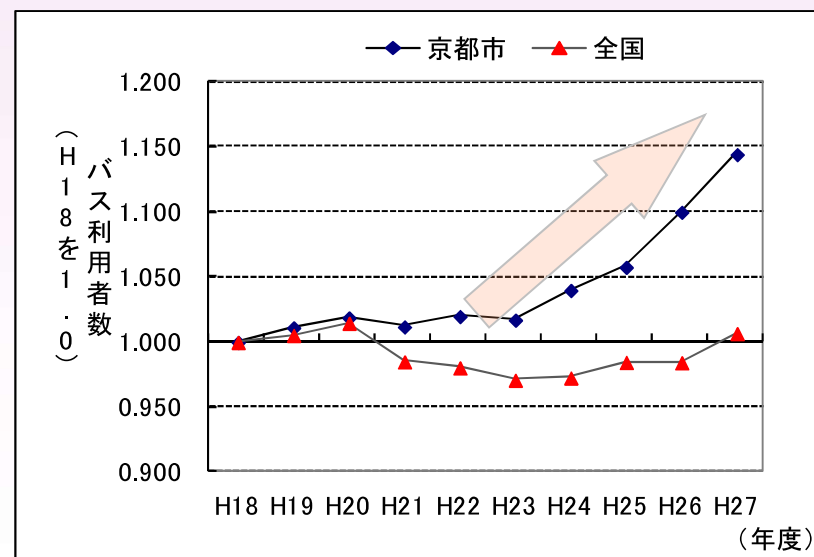
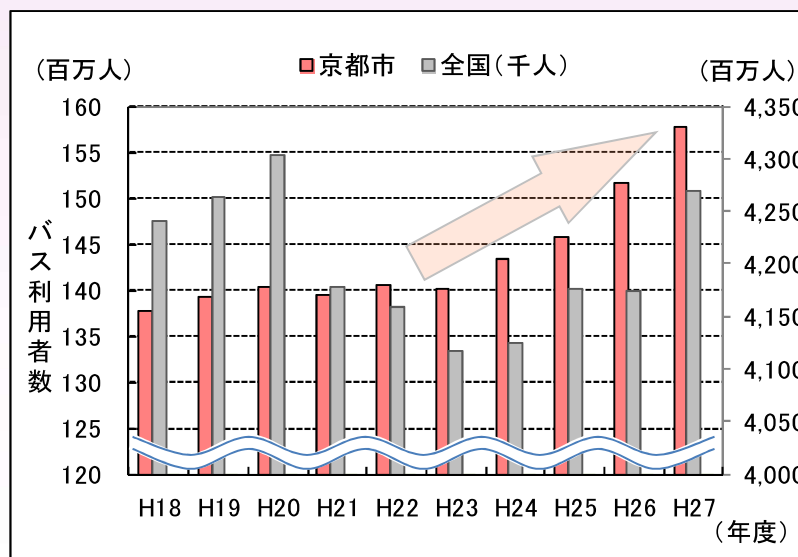
- 平成22年度以降, 鉄道利用者数は増加。
- この2年間は京都市の伸びが全国と比較しても大きくなっている。
(平成18年度比)



京都市調べ
<全国> 出典: 鉄道輸送統計年報

参考②:バス利用者数

- 平成24年度以降, バス利用者数は増加。
- 全国ではほぼ横ばいとなっているが, 京都市は伸びに勢いがみられる。(平成18年度比)

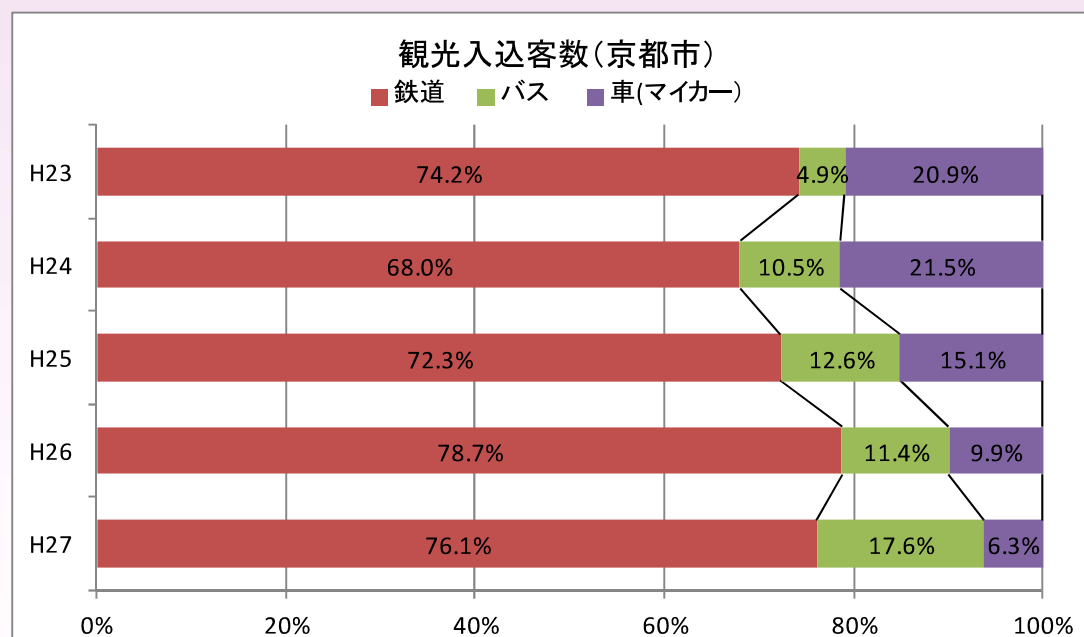


京都市調べ

<全国> 出典: 国土交通省資料

参考③：観光客の交通手段分担

- H24以降、車(マイカー)の比率は減少傾向で推移しており、この3年間で3分の1以下になっている。
- 一方、バスはH27に比率が大きく増加し、2割弱を占めている。また、鉄道はほぼ横ばいで推移している。

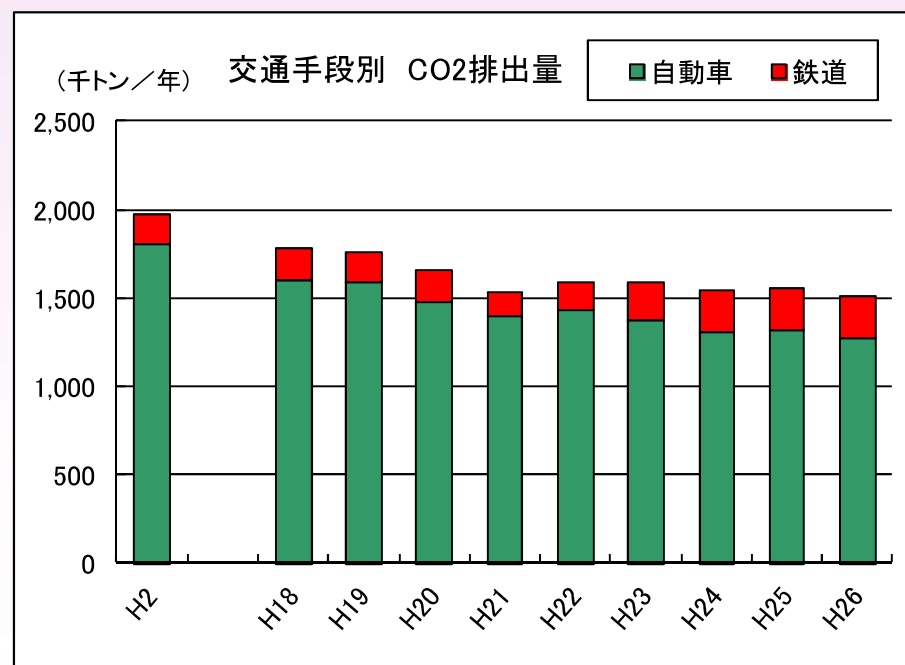


※資料:京都観光総合調査

京都市内の主要な鉄道駅、観光駐車場等、全13箇所において、調査時期(年4回)、曜日、時間を概ね合わせたうえで無作為に調査対象者を抽出し、郵送回答の方法で調査を実施(回答数:3,843)

参考④:CO2排出量

- DO YOU KYOTO?プロジェクトの周知により, 環境にやさしい取組が市民の皆様広がっていることから, 運輸部門のCO₂排出量については, 平成2年から約2割減少している。
- 大規模なモビリティ・マネジメントを体系的に実施をしている「スローライフ京都」大作戦を推進しクルマに頼り過ぎない暮らし(スローライフ)への転換を進め, 更なるCO₂の削減を図る。



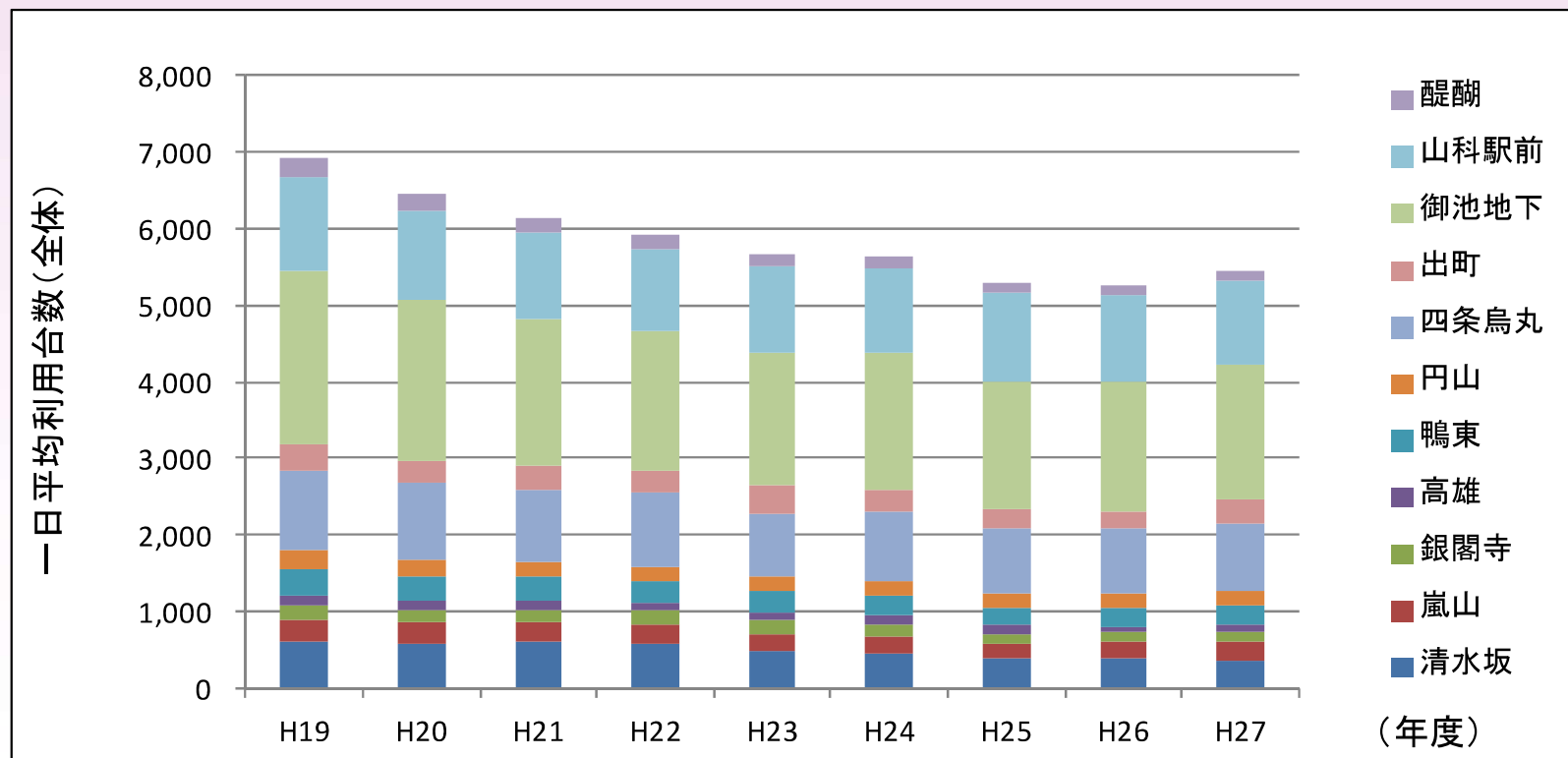
交通手段別CO₂排出量

京都市調べ

参考⑤：市営駐車場利用状況

- 市営駐車場の平均利用台数をみると、H19以降減少傾向(H27は微増)にある。

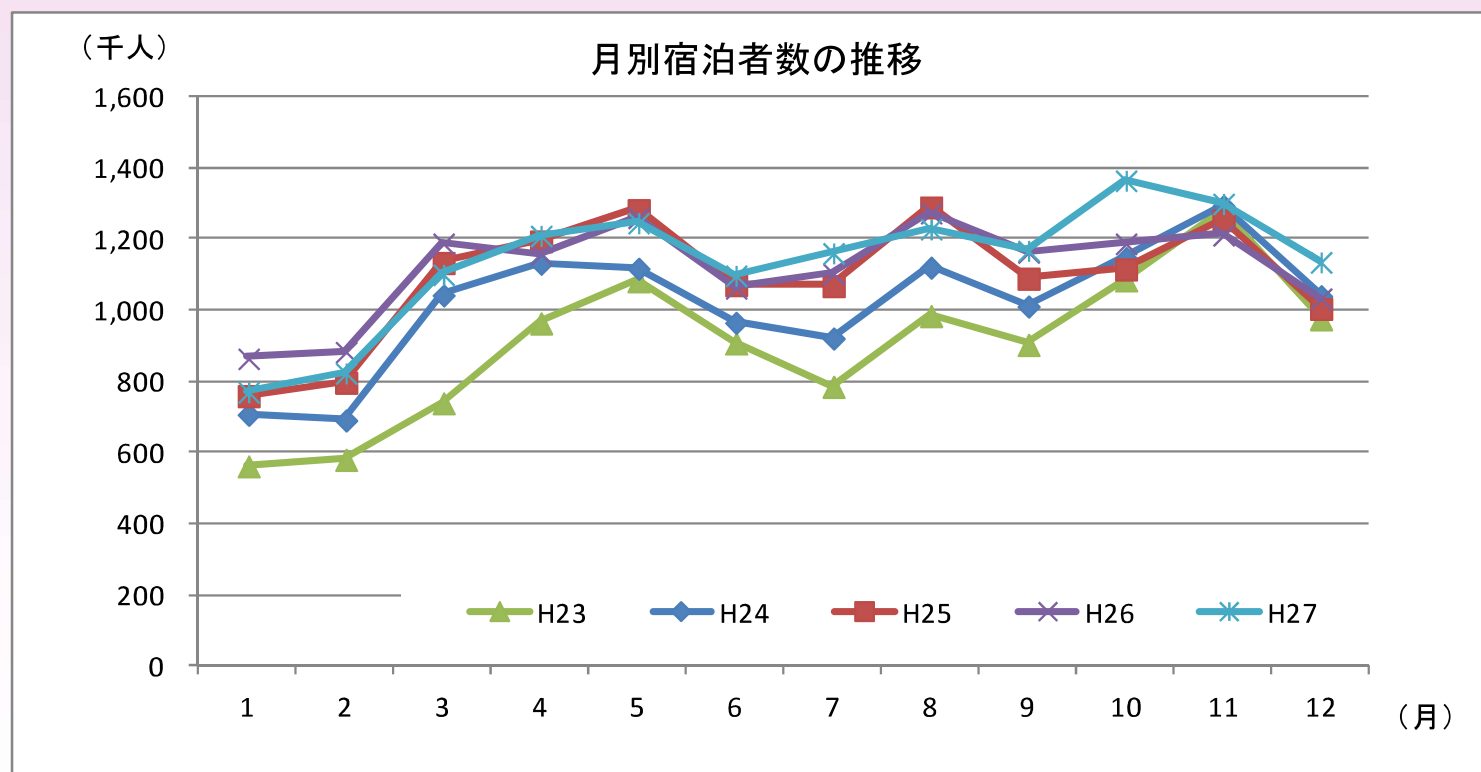
※定期利用台数を含む



京都市調べ

参考⑥：入洛宿泊観光客数

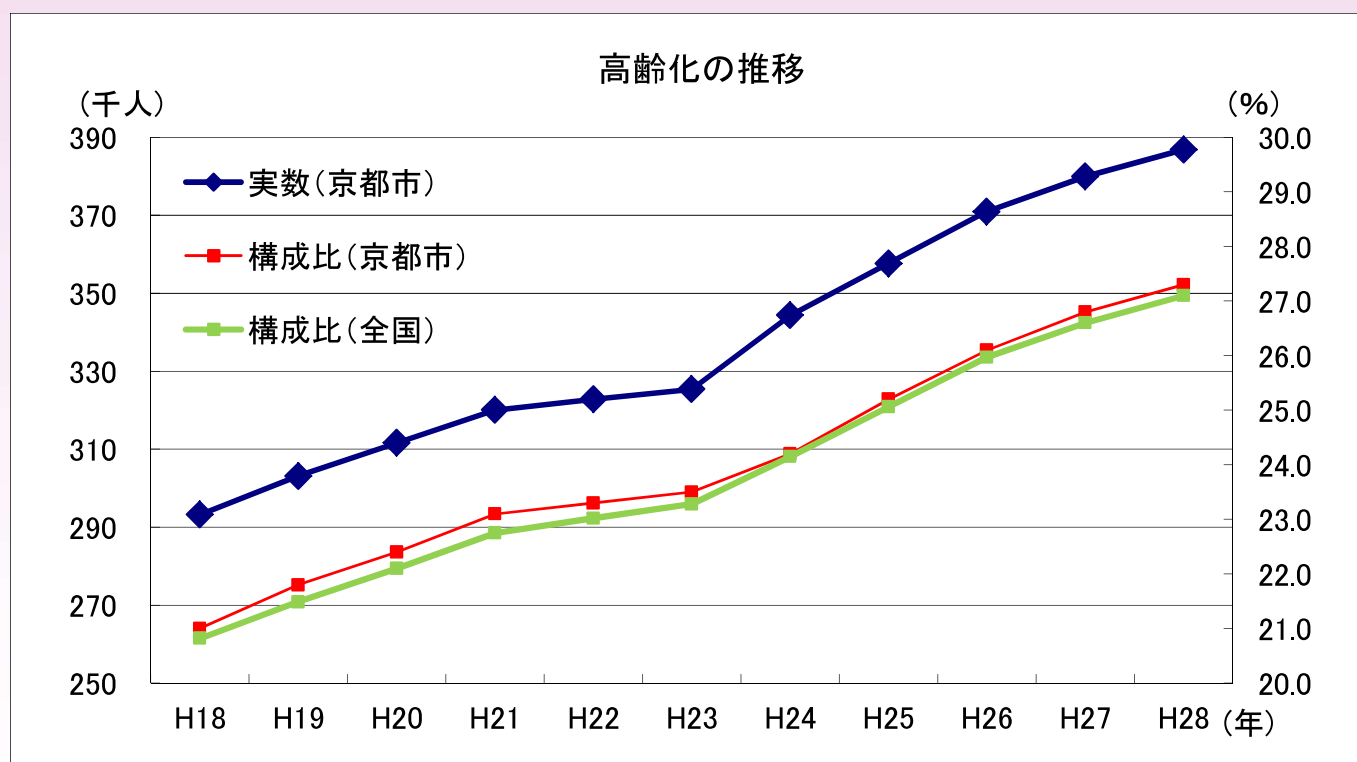
- H27は年間で13,621千人の宿泊があり、前年(13,406千人)に比べ、215千人増加している。
- 月変動をみると、H23以降でピーク以外の宿泊客数が増加しており、繁閑差が縮小する傾向がみられる。



資料:京都観光総合調査

参考⑦：高齢化

- 京都市の高齢者数は増加傾向にあり，高齢化率(65歳以上の比率)はH18の21.0%から，H27では27.3%に上昇している。全国と比較すると，ほぼ同じ傾向で推移している。



高齢化率：65歳以上人口の比率

資料1:住民基本台帳人口

資料2:全国は，総務省 統計局「人口推計」（各年10月1日現在，H28のみ年7月1日現在）

(2) 京都のまちの活力を高める公共交通検討会議について

資料5をご覧ください

(3)「歩くまち・京都」総合交通戦略のプロジェクトの追記・修正について(『「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ』に掲げられたプロジェクトの反映)

資料6をご覧ください

（４）平成29年度以降の展開について

平成29年度の主な「まちづくり」の取組

- ・歩道拡幅後の四条通におけるエリアマネジメントの推進
- ・ETC2.0データの分析を踏まえた、パークアンドライドの利用促進の実施
- ・東大路通の歩道やバス待ち環境の改善，歩行者を分散させるための回遊性向上に向けた取組の検討

「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進

- 歩道拡幅後の四条通におけるエリアマネジメントの推進
- 荷さばき車両の整序化に向けた取組の実施，路外荷捌きの推進
- タクシー駐停車マナー向上に関するアンケートや啓発活動の実施

観光地交通対策の推進

○インバウンドの増加に伴い，来訪者が増加傾向にある京都を代表する観光地である嵐山地区及び東山地区において，これまで実施してきた交通対策の定着化を図ることで，安全快適な歩行空間を創出するとともに，観光地における交通渋滞の緩和と公共交通の利用を促進する。

パークアンドライド利用の促進

- クルマの流入経路等のドライバーの動向が把握できる，ETC2.0データの分析を踏まえ，市内へのクルマの流入抑制に効果的な位置にある駐車場を選定するとともに，民間事業者が実施するインセンティブの取組支援や，出発地から現地までの連続した広報の充実などにより，当該駐車場への一層の誘導強化を行う。
- ホームページによる分かりやすい情報発信などを引き続き実施する。

「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備

- 歴史的都心地区の西側エリア(ゾーン3)の対策を実施

安心・安全な東大路歩行空間創出事業

- 歩行者にとって安心・安全な歩行空間を確保するために，歩道勾配改善やバス待ち環境改善に係る設計及び工事等を行う。
- 引き続き，「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催等により，地元住民や関係団体の皆様と情報共有を図りながら，歩道やバス待ち環境の改善及び東大路通の歩行者を分散させるための回遊性向上に向けた検討を進める。

京都市における自動運転技術の社会実装に向けた研究

- 平成28年度中に検討会を設置し，議論を行い，自動運転技術についての共通認識を図る。
- 平成29年度は，平成28年度に引き続き，検討会で議論を行うとともに，必要に応じて専門分野ごとの部会を設置し，個別の課題について検討を進める。

平成29年度の主な「既存公共交通」の取組①

- ・京都駅八条口貸切バス乗降場の運用開始
- ・ICカード普及啓発WG, 外国語案内充実WG等, 事業者が主体となったワーキンググループの取組を強化
- ・京北ふるさとバスの「地域が育む」公共交通を目指した取組の推進

京都駅八条口駅前広場整備

○平成29年12月に完成した京都駅八条口駅前広場の各施設の効率的な運用, 交通事業者等による管理・運営等を調整し, 駅前広場を含む八条通の整序化を推進する。

- ・貸切バス乗降場, タクシー待機場の運用(ショットガン方式)
- ・駅前広場の円滑な運用, 利用者への周知及び適切な案内誘導を実施

公共交通ネットワークの連携強化

- 公共交通利便性向上検討WG
- ・洛西地域における利用促進イベントの実施(らくさいさくら祭)
- ・ダイヤ改正に伴う共通時刻表及び路線図の修正
- ICカード普及啓発WG(幹事:交通局)
- ・京都市を生活圏とする方に向けたPR活動, 来訪者に対するPR活動を継続することと合わせて, 外国人利用者に向けたPRも検討
- 外国語案内充実WG(幹事:交通局, 京都バス)
- ・外国人利用者に向けた公共交通の案内情報の共通化を目指した取組を継続

京北ふるさとバスの社会実験

○持続可能で利用しやすい「地域が育む」公共交通を目指す再構築の方針に基づき, これまで実施してきた社会実験について, 29年度から本格実施に移行するとともに新たな取組を進める。

【平成29年度の主な取組】

《通常運行への移行》

- ・高校生向け夜間便の運行(山国・黒田線, 周山・山国線)
- ・京北病院への立ち寄り
- ・小塩線と灰屋線の一本化
- ・宇津線のスクールバスとの一本化(朝便のみ)
- ・高校生向け割引運賃の設定

周山⇒京北病院前:150円(JRバスからの乗継ぎも含む。)

その他の地域⇒京北病院前:200円

《社会実験の実施》

- ・土曜ダイヤ, 日曜ダイヤの設定(中学生のクラブ活動に合わせたダイヤ変更(土曜日), 登山客の利用を見込んだJRバスとの接続ダイヤの設定(日曜日)など

《京北と市中心部間における利便性向上策》

- ・JRバスと市バス8号系統との高雄での乗継接続(29年3月～)

平成29年度の主な「既存公共交通」の取組②

- ・北部山間地域の公共交通の確保・維持に向けて、地域にとって必要な公共交通のあり方について検討
- ・西大路駅（JR西日本）のバリアフリー化に着手
- ・市内周辺部における生活交通の維持・確保に向けた取組の推進

北部山間地域の公共交通の確保・維持

北部山間地域は、公共交通の確保・維持に向けた検討が必要とされる地域であり、特に、左京区花背・広河原地域においては、最寄りの高校へ通学する交通手段がなく、子供の高校進学と同時に、家族単位で市街地へ転居するなど、人口流出の課題を抱えている。平成29年度は、早急な対応の必要がある左京区花背・広河原地域において、地域の状況調査や住民意向を確認し、地域にとって必要な公共交通のあり方について、隣接する京北地域のバスの運行と連携を図りながら、地域住民、区役所や交通事業者と共に検討する。

【主な取組項目】

- ・人口動向・生活動向調査
- ・バス交通以外の移動手段の調査
- ・TFPアンケートによる住民の意向調査
- ・地域住民、交通事業者を交えたワークショップの開催
- ・花背・広河原地域から京北地域へ接続する路線の検討

交通バリアフリーの推進

○現在、バリアフリー化整備を実施中の西院駅（阪急）に加え、西大路駅（JR西日本）のバリアフリー化整備に着手するため、国・京都府と協調して支援。

市内周辺部における生活交通の維持・確保に係る民間バス事業者への支援

○市域周辺部におけるバス待ち環境の向上等を目的として、民間バス事業者に対して支援。

平成29年度の主な「ライフスタイル」の取組

- ・ 次の世代を担う子どもたちへの取組の充実
→学校の授業を通して「歩くまち・京都」の理念を子どもたちに
- ・ 公共交通不便地域において住民、交通事業者、行政が一体となったモビリティ・マネジメントを支援
→地域に根ざした公共交通の形成
- ・ NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムとの連携強化
→相乗効果で事業を発展

「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発

- 各種イベント、啓発グッズ等を活用した「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発

市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMM

- 市民しんぶん等を活用した普及啓発
- 市内2学区を対象にしたコミュニケーション・アンケートの実施
- 京都府警と連携し、高齢者を対象とした交通安全教育での普及啓発
- 自動車教習所協会と連携した普及啓発
- 公共交通不便地域等において、地域が主体となって取り組むモビリティ・マネジメントへの支援

未来の公共交通利用者を確保するための学校MM

- 年間を通じた授業として、「歩くまち・京都」学習を实践する学校への支援(3校)

企業や職場における交通マネジメントを見直すMM

- 従業員に対するアンケートの実施

出発地から公共交通利用を考える観光来訪者へのMM

- 観光客を対象とした出発地での情報配信
- 「歩くまち・京都」アプリを活用したモビリティ・マネジメント情報の配信

NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムにおけるMM

- 法人会員と連携したMMの拡大・充実
- インバウンドなど、時代のトレンドにあった取組の実施